

# 滋賀県 景況調査結果報告書

令和6年度 第2四半期  
(令和6年7～9月期)

## 目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和6年7～9月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	457	15	8	1	481
(割合)	95.0%	3.1%	1.7%	0.2%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和6年8月26日～9月13日

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

回答企業数:481社(回答率64.1%)

※大企業28社、中小企業453社(うち小規模事業者163社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	12	2	0	4	10	28
中小企業・ 小規模事業者	148	91	31	59	124	453
合計	160	93	31	63	134	481
(業種別比率)	33.3%	19.3%	6.4%	13.1%	27.9%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	18	14	9	13	27	81
南部地域	34	12	4	14	25	89
甲賀地域	21	14	2	8	18	63
東近江地域	28	15	7	9	12	71
湖東地域	19	11	4	6	22	62
湖北地域	22	14	3	8	16	63
高島地域	18	13	2	5	14	52
合計	160	93	31	63	134	481

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲8.3と、前期と比べて7.1ポイント改善した。  
来期は▲11.3と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では0.0とマイナス幅が縮小し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲8.8とマイナス幅が縮小した。  
来期は、大企業が0.0と同水準で推移し、中小企業は▲11.9とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** 前期と比べて全ての業種で改善した。  
来期は、製造業はマイナス幅が縮小し、サービス業はプラス幅が拡大する一方、建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大するなど、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和6年7~9月期、来期:令和6年10~12月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

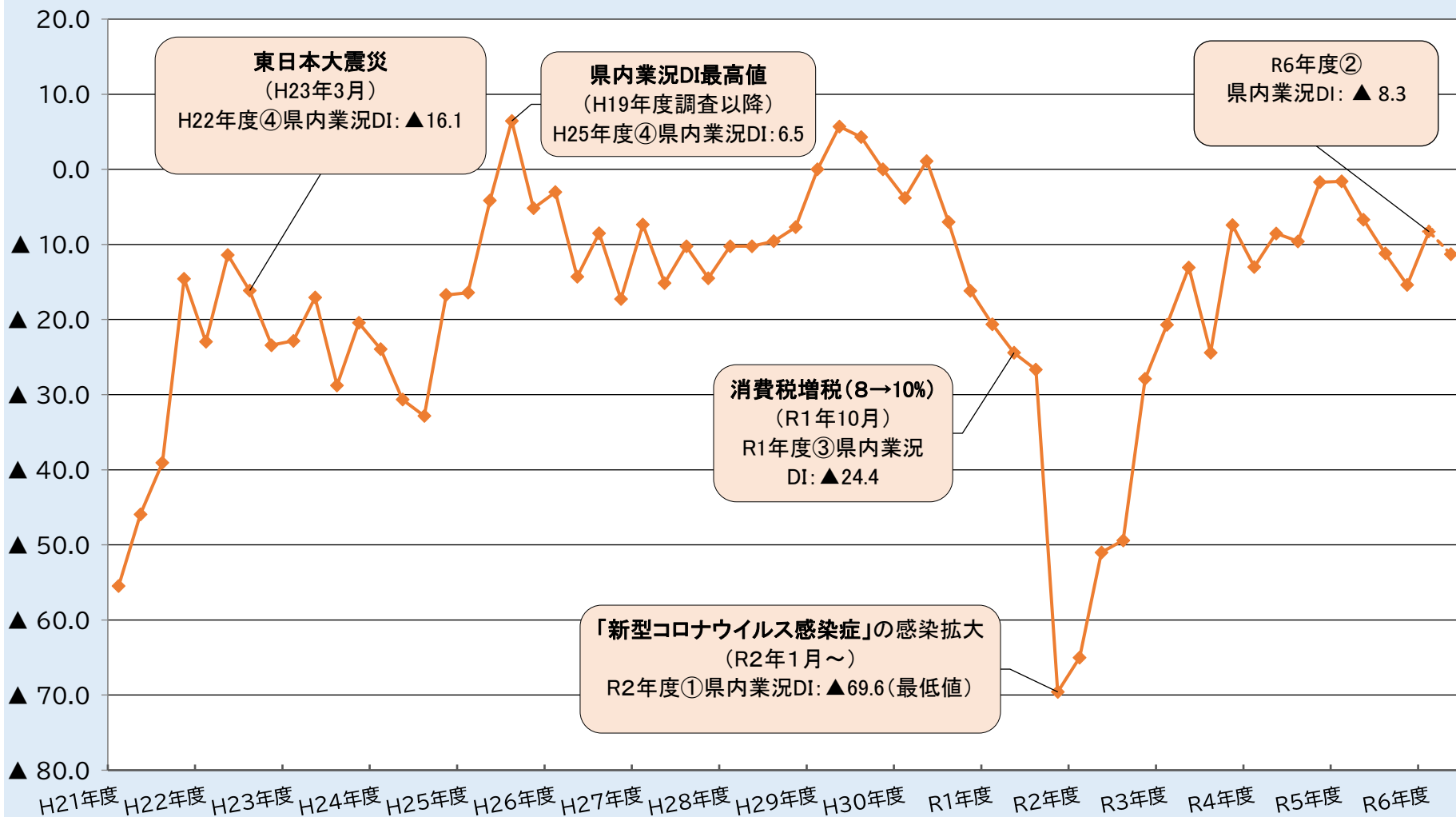
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 業況DIの推移

(平成21年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



## 1. 調査概要

## 2. 全体

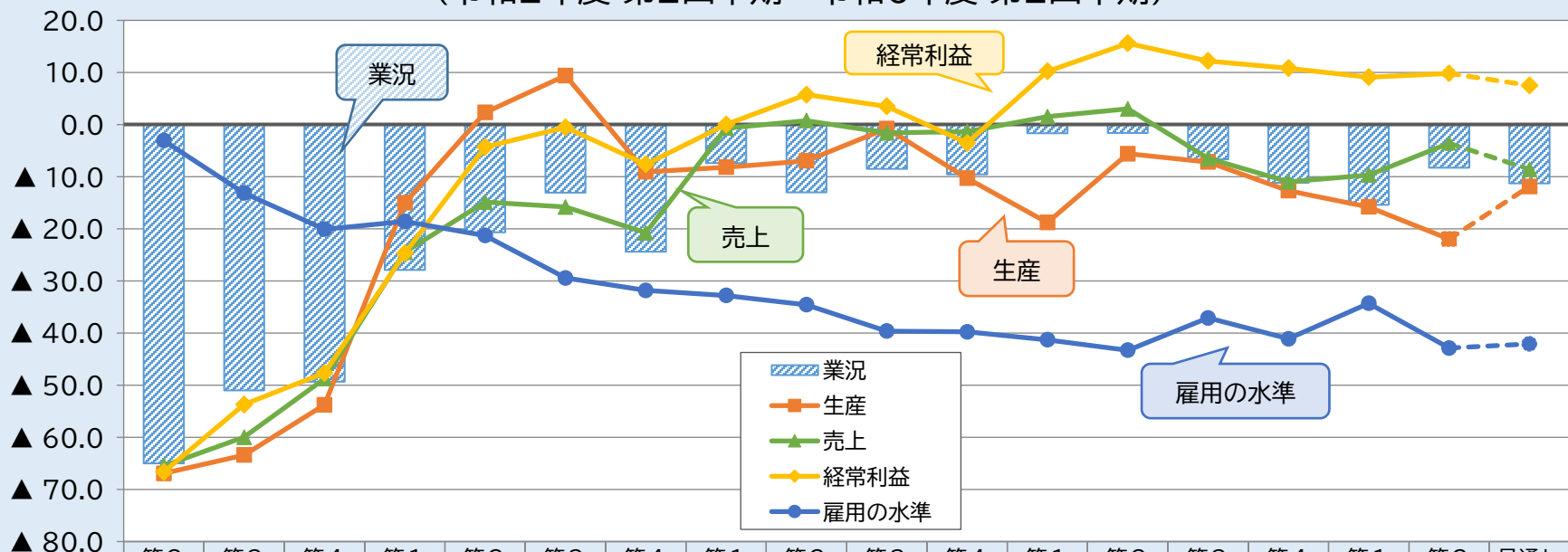
## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 各種DIの推移

(令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



	第2 R2 (2020) 年度				第1 R3 (2021) 年度				第1 R4 (2022) 年度				第1 R5 (2023) 年度				第1 R6 (2024) 年度		見通し
業況	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 11.3	
生産	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 11.9	
売上	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 8.6	
経常利益	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	10.8	9.1	9.8	7.5	
雇用の水準	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 42.1	

【今期(令和6年7～9月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DI、売上DIはマイナス幅が縮小、生産DIはマイナス幅が拡大、経常利益DIはプラス幅がやや拡大した。  
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和6年10～12月期)の見通し】

業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。  
雇用の水準DIはマイナス幅がやや縮小し、不足感が弱まる見通し。

1. 調査概要

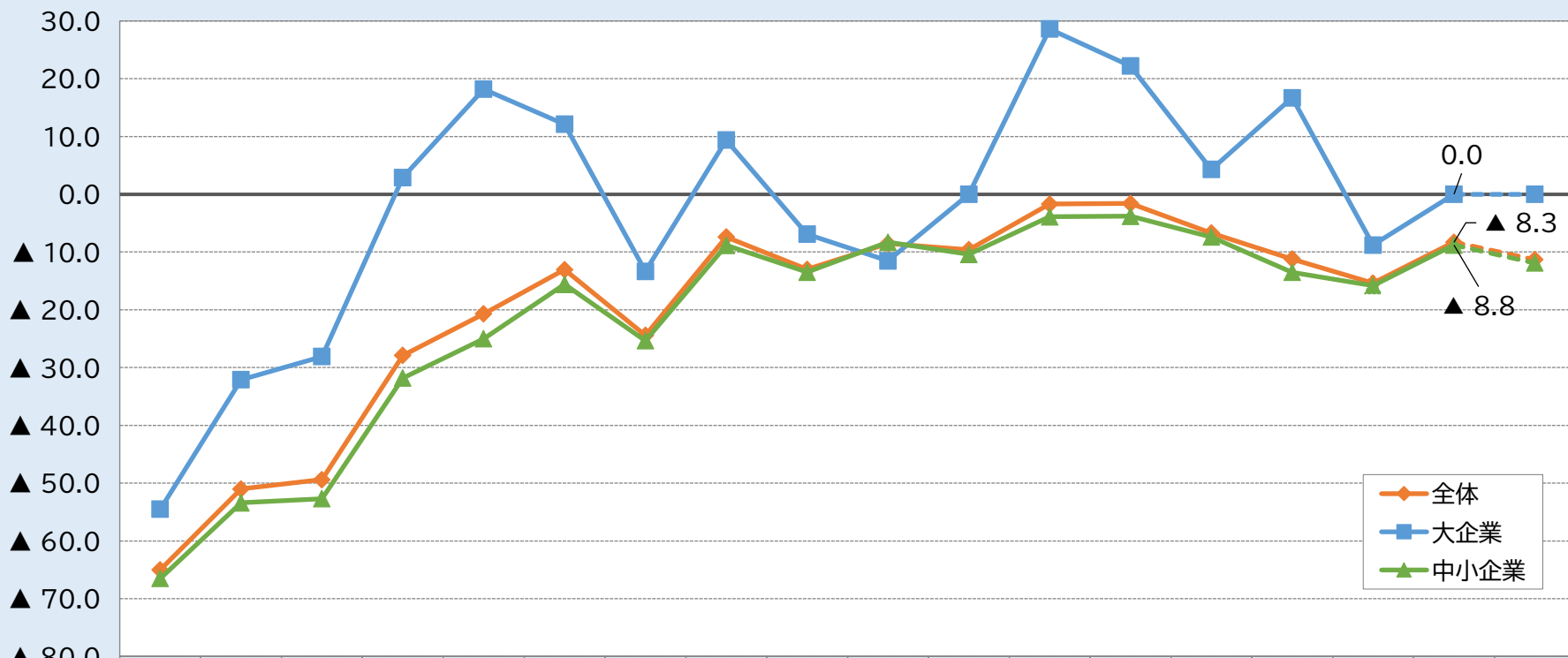
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【企業規模別】業況DIの推移 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



全体	▲65.0	▲51.0	▲49.4	▲27.9	▲20.7	▲13.1	▲24.4	▲7.4	▲13.0	▲8.5	▲9.6	▲1.7	▲1.6	▲6.7	▲11.2	▲15.4	▲8.3	▲11.3
大企業	▲54.5	▲32.1	▲28.1	2.9	18.2	12.1	▲13.3	9.4	▲6.9	▲11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲8.8	0.0	0.0
中小企業	▲66.5	▲53.4	▲52.7	▲31.8	▲25.0	▲15.6	▲25.4	▲8.8	▲13.5	▲8.3	▲10.4	▲3.9	▲3.8	▲7.4	▲13.5	▲15.8	▲8.8	▲11.9

【大企業】	今期:0.0とマイナス幅が縮小した。	来期:0.0と同水準の見通し。
【中小企業】	今期:▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期:▲11.9とマイナス幅が拡大する見通し。



## 1. 調査概要

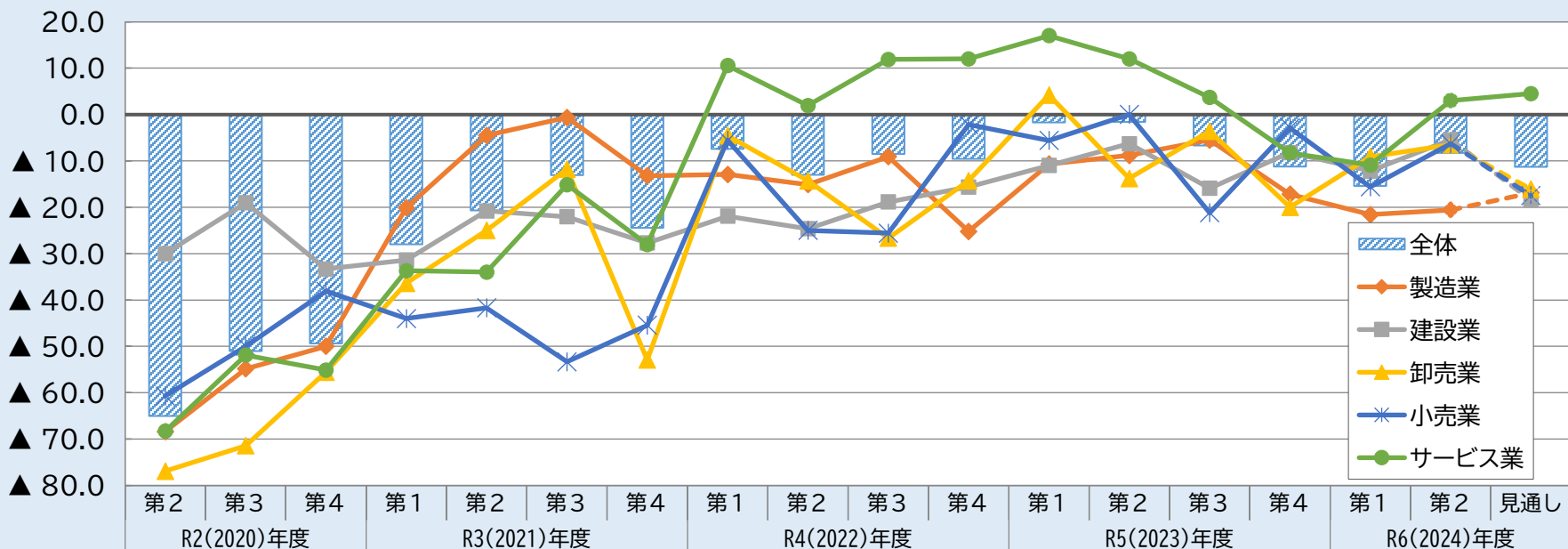
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【企業業種別】業況DIの推移 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



	R2(2020)年度			R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度				R6(2024)年度		
全体	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 11.3
製造業	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 16.9
建設業	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 18.5
卸売業	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	▲ 4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 16.1
小売業	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 17.5
サービス業	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	4.5

【製造業】	今期: ▲20.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.9とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲5.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲6.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲6.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲17.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【サービス業】	今期: +3.0とプラスに転じた。	来期: +4.5とプラス幅が拡大する見通し。



1. 調査概要

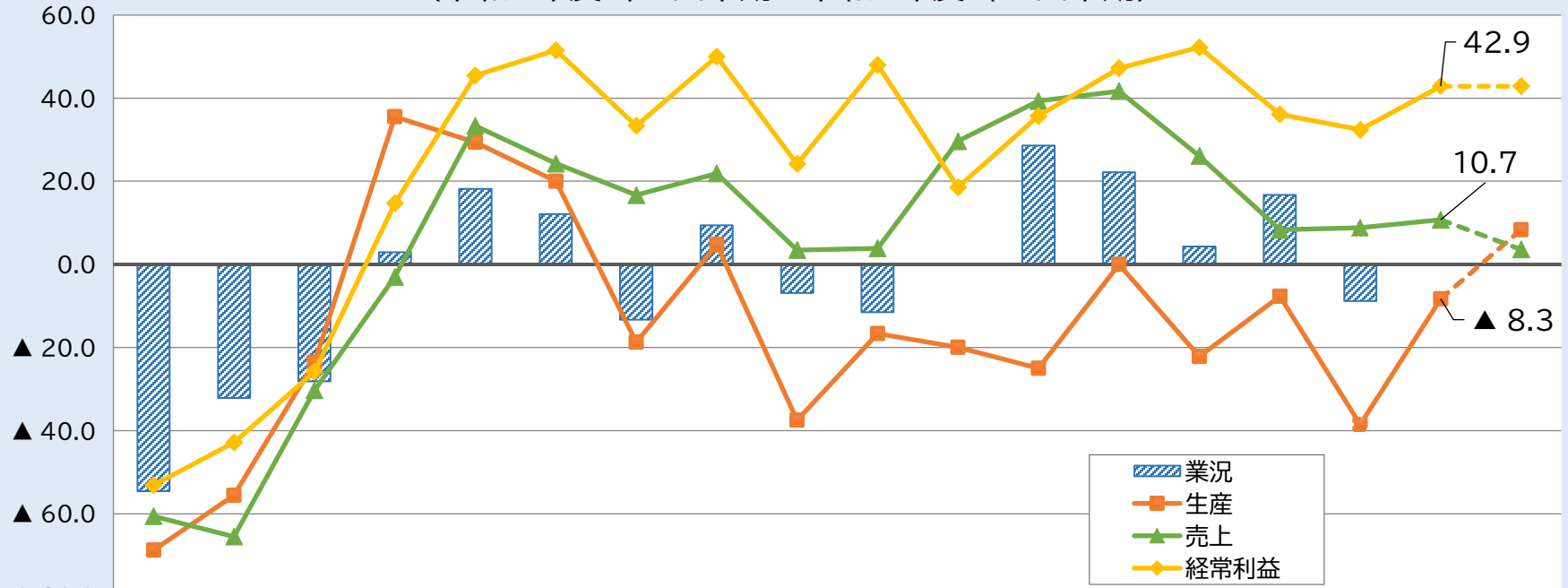
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

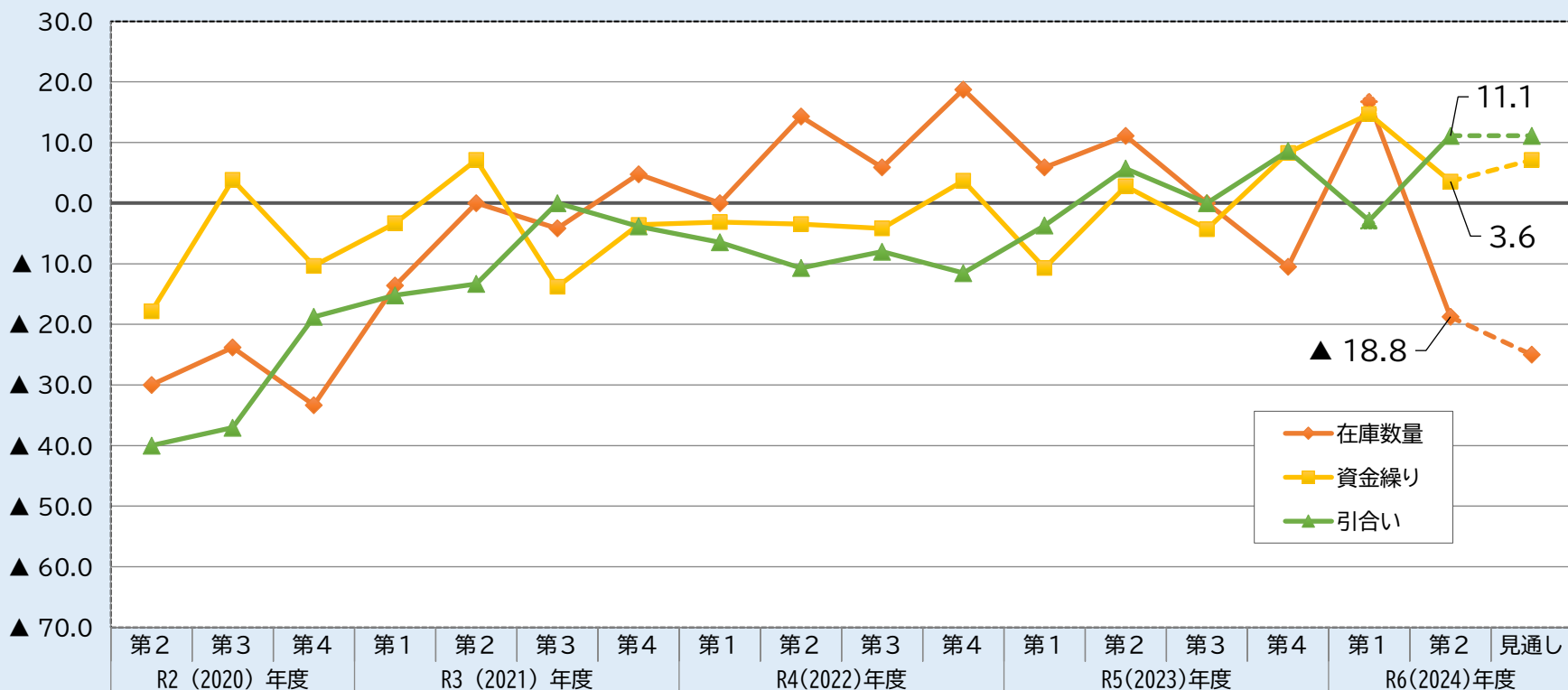
## 【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



	第2 R2 (2020) 年度			第1 R3 (2021) 年度				第1 R4 (2022) 年度				第1 R5 (2023) 年度				第1 R6 (2024) 年度		
業況	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	0.0
生産	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	▲ 7.7	▲ 38.5	▲ 8.3	8.3
売上	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	26.1	8.3	8.8	10.7	3.6
経常利益	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	52.2	36.1	32.4	42.9	42.9

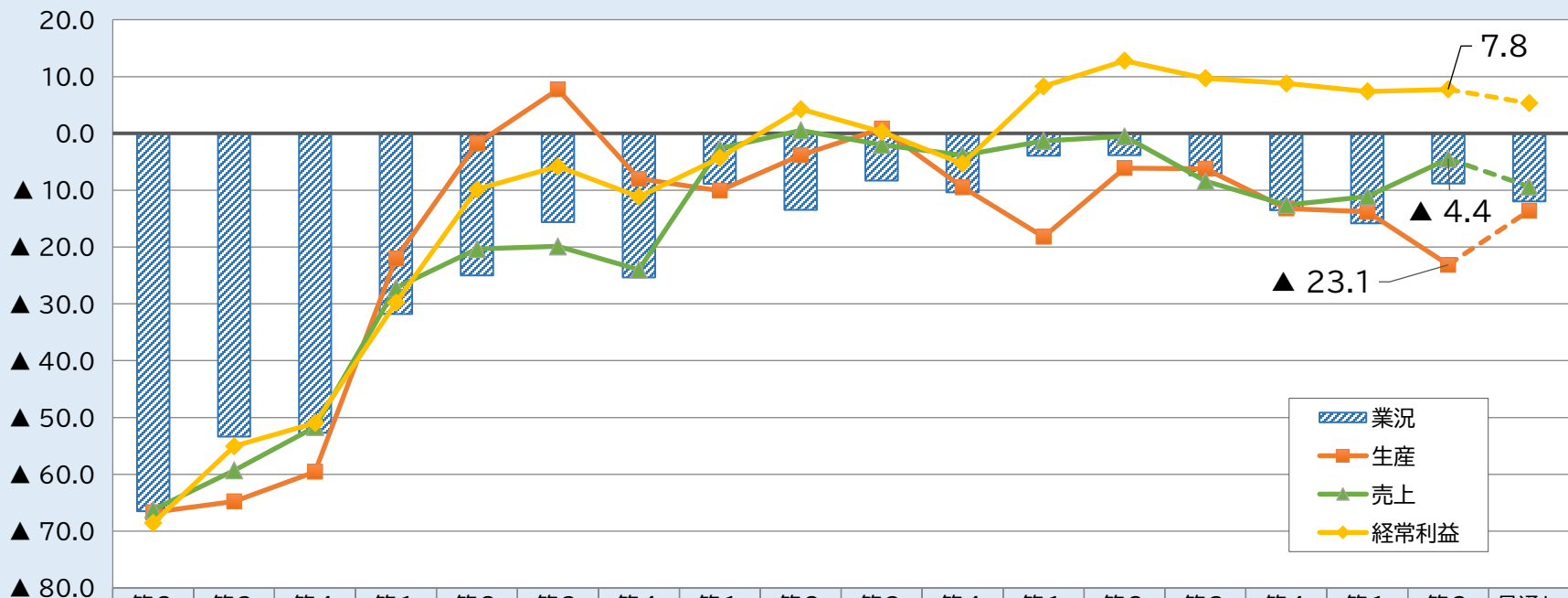
【業況】	今期:0.0とマイナス幅が縮小した。	来期:0.0と同水準の見通し。
【生産】	今期:▲8.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期:+8.3とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期:+10.7とプラス幅が拡大した。	来期:+3.6とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期:+42.9とプラス幅が大幅に拡大した。	来期:+42.9と同水準の見通し。

## 【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



【在庫数量】	今期: ▲18.8とマイナスに転じた。	来期: ▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: +3.6とプラス幅が大幅に縮小した。	来期: +7.1とプラス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: +11.1とプラスに転じた。	来期: +11.1と同水準の見通し。

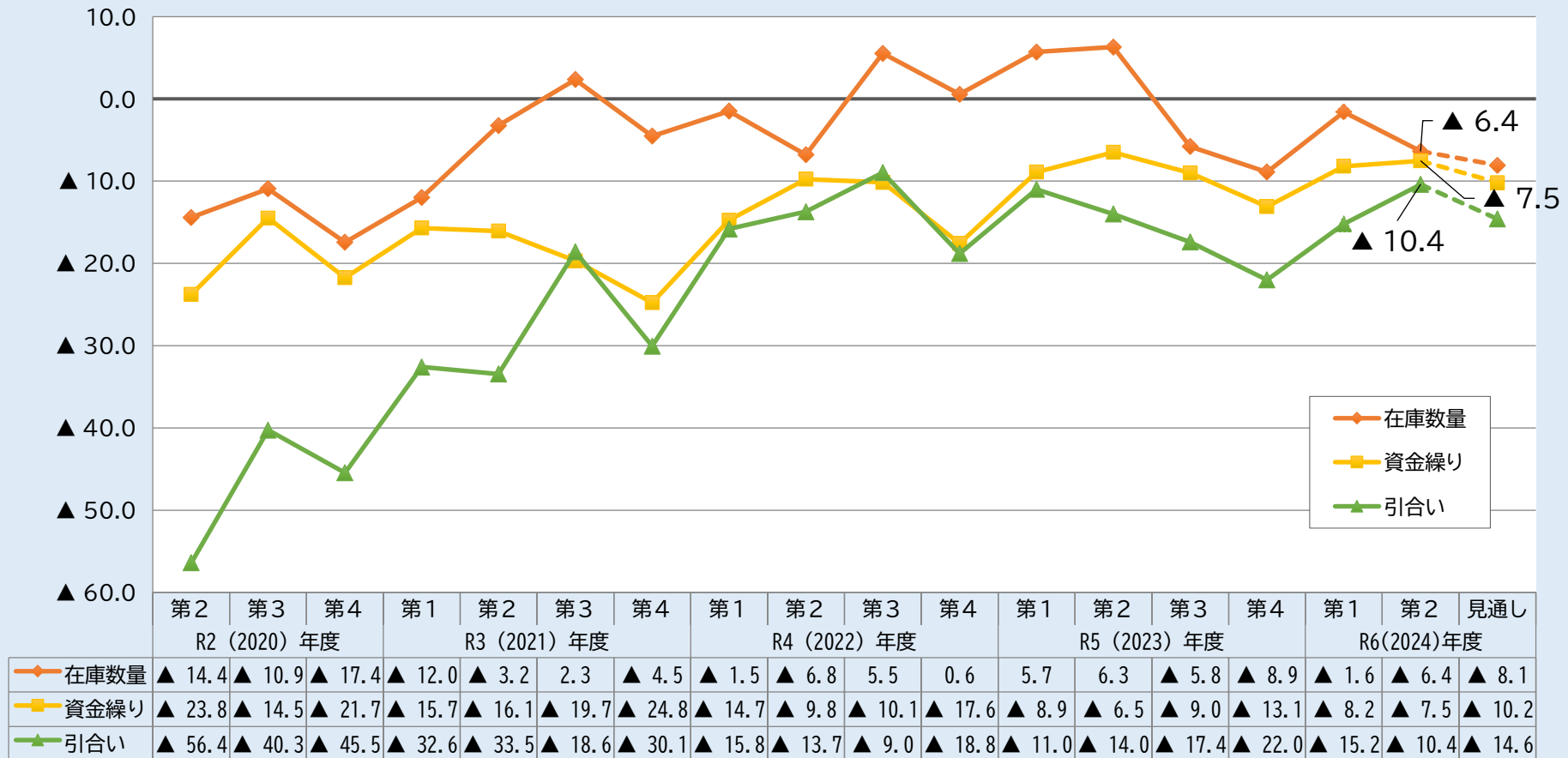
## 【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



	R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲66.5	▲53.4	▲52.7	▲31.8	▲25.0	▲15.6	▲25.4	▲8.8	▲13.5	▲8.3	▲10.4	▲3.9	▲3.8	▲7.4	▲13.5	▲15.8	▲8.8	▲11.9	
生産	▲66.7	▲64.8	▲59.6	▲22.0	▲1.8	7.8	▲8.0	▲10.1	▲3.8	0.8	▲9.5	▲18.2	▲6.1	▲6.2	▲13.2	▲13.8	▲23.1	▲13.6	
売上	▲66.2	▲59.3	▲51.7	▲27.2	▲20.3	▲19.9	▲24.0	▲2.7	0.5	▲2.0	▲3.8	▲1.3	▲0.5	▲8.4	▲12.6	▲11.1	▲4.4	▲9.3	
経常利益	▲68.6	▲55.1	▲51.0	▲29.8	▲9.8	▲5.8	▲11.1	▲4.3	4.3	0.3	▲5.3	8.3	12.8	9.7	8.8	7.4	7.8	5.3	

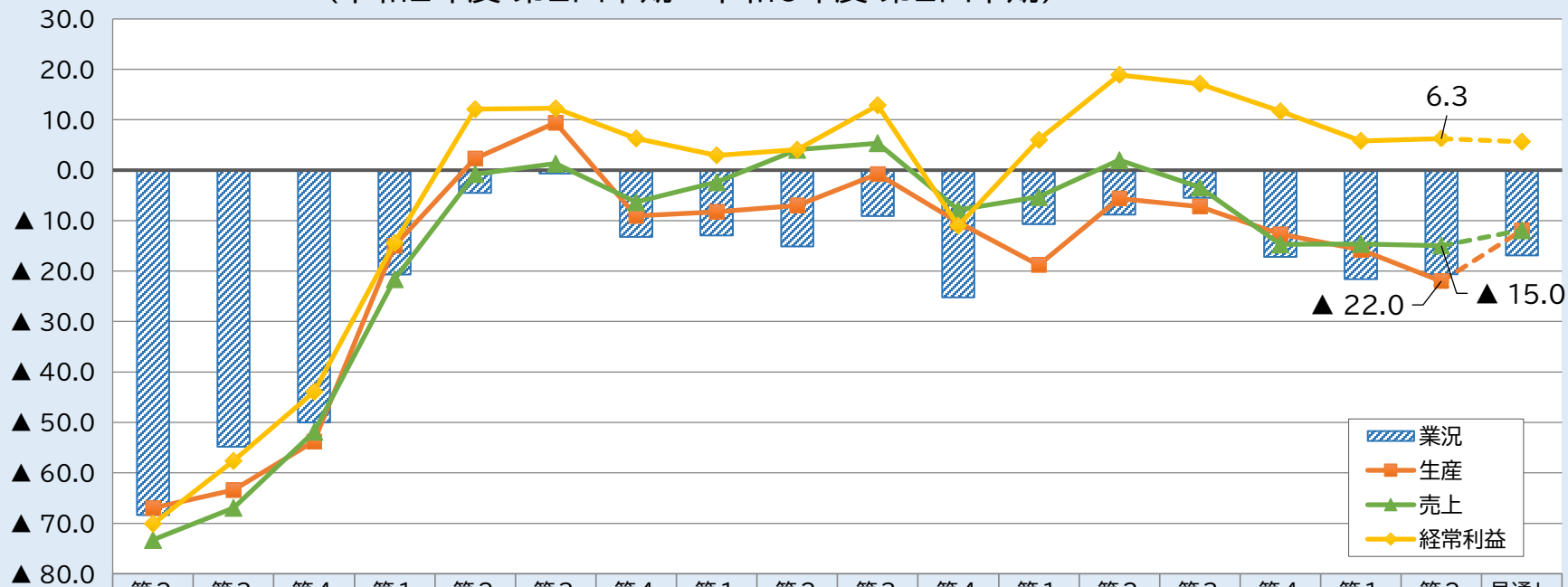
【業況】	今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲11.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲23.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲13.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲4.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +7.8とプラス幅がやや拡大した。	来期: +5.3とプラス幅が縮小する見通し。

## 【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: ▲6.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲8.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲7.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲10.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲10.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.6とマイナス幅が拡大する見通し。

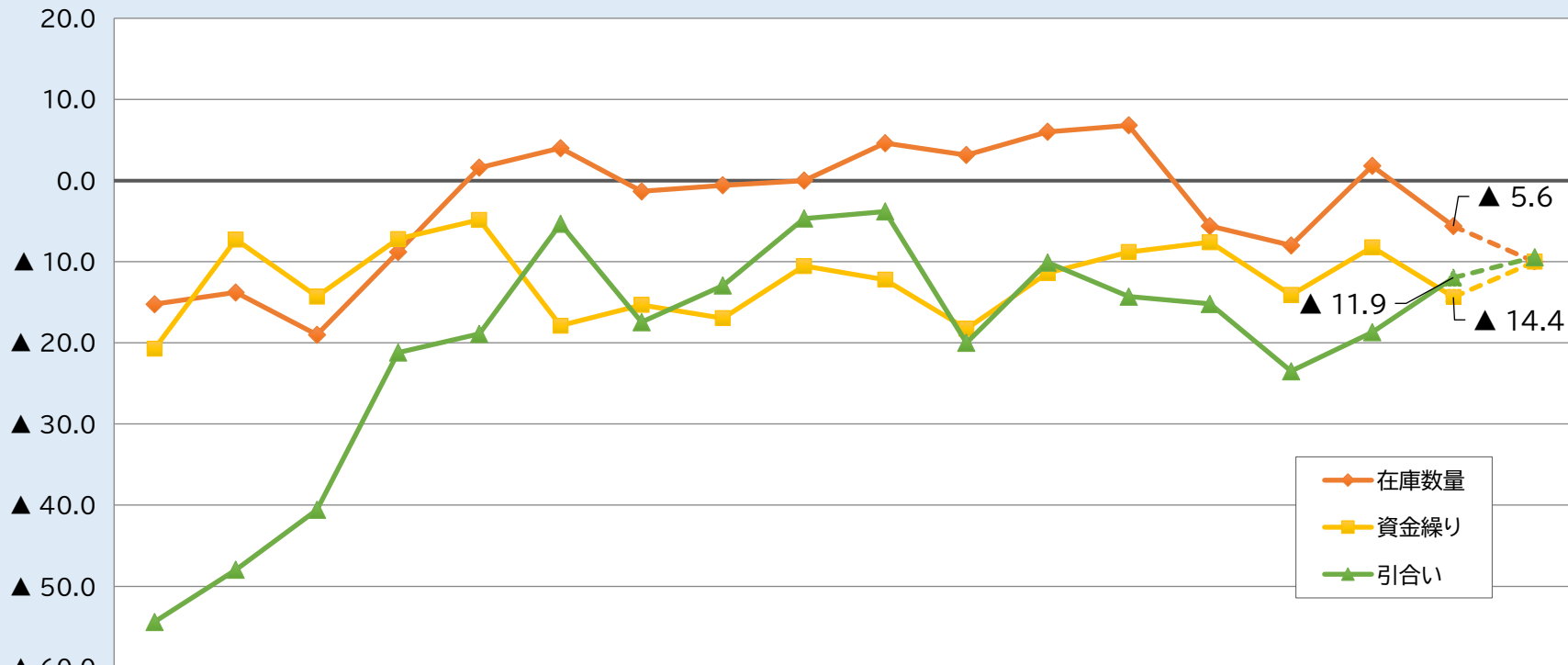
## 【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



	R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 16.9	
生産	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 11.9	
売上	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 11.9	
経常利益	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	11.7	5.8	6.3	5.6	

【業況】	今期: ▲20.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.9とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲22.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲11.9とマイナス幅が大幅に縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲15.0とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲11.9とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +6.3とプラス幅がやや拡大した。	来期: +5.6とプラス幅がやや縮小する見通し。

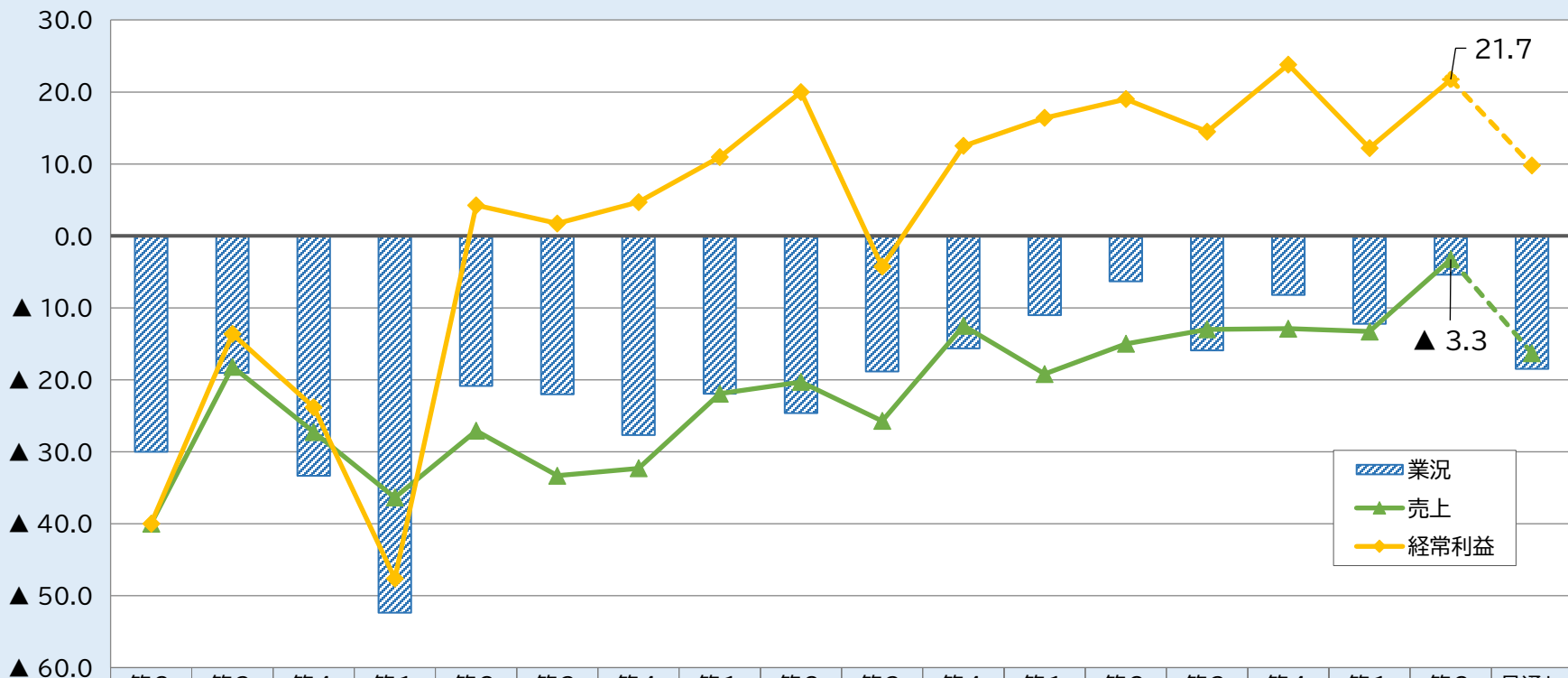
## 【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



	第2 R2 (2020) 年度	第3	第4	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1 R4 (2022) 年度	第2	第3	第4	第1 R5 (2023) 年度	第2	第3	第4	第1 R6 (2024) 年度	第2	見通し
在庫数量	▲ 15.2	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 8.8	1.6	4.0	▲ 1.3	▲ 0.6	0.0	4.6	3.1	6.0	6.8	▲ 5.6	▲ 8.0	1.8	▲ 5.6	▲ 10.0
資金繰り	▲ 20.7	▲ 7.3	▲ 14.3	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 10.0
引合い	▲ 54.4	▲ 48.0	▲ 40.6	▲ 21.2	▲ 18.9	▲ 5.3	▲ 17.4	▲ 12.9	▲ 4.7	▲ 3.8	▲ 20.0	▲ 10.1	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 11.9	▲ 9.4

【在庫数量】	今期: ▲5.6とマイナスに転じた。	来期: ▲10.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲14.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲11.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.4とマイナス幅が縮小する見通し。

## 【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)

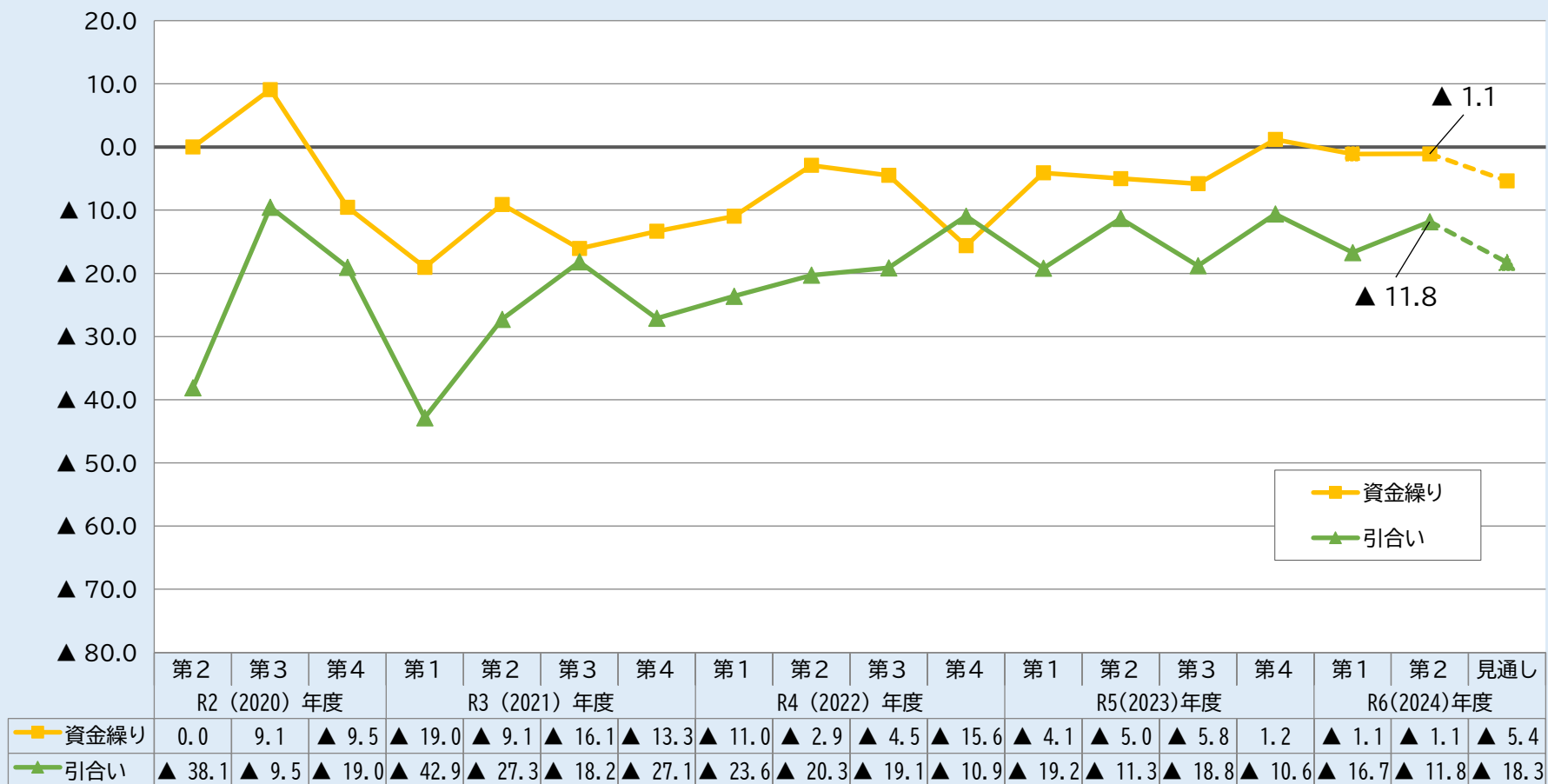


	R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 18.5	
売上	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 13.0	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 16.3	
経常利益	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲ 4.3	12.5	16.4	19.0	14.5	23.8	12.2	21.7	9.8	

【業況】	今期: ▲5.4とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲3.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲16.3とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +21.7とプラス幅が拡大した。	来期: +9.8とプラス幅が大幅に縮小する見通し。

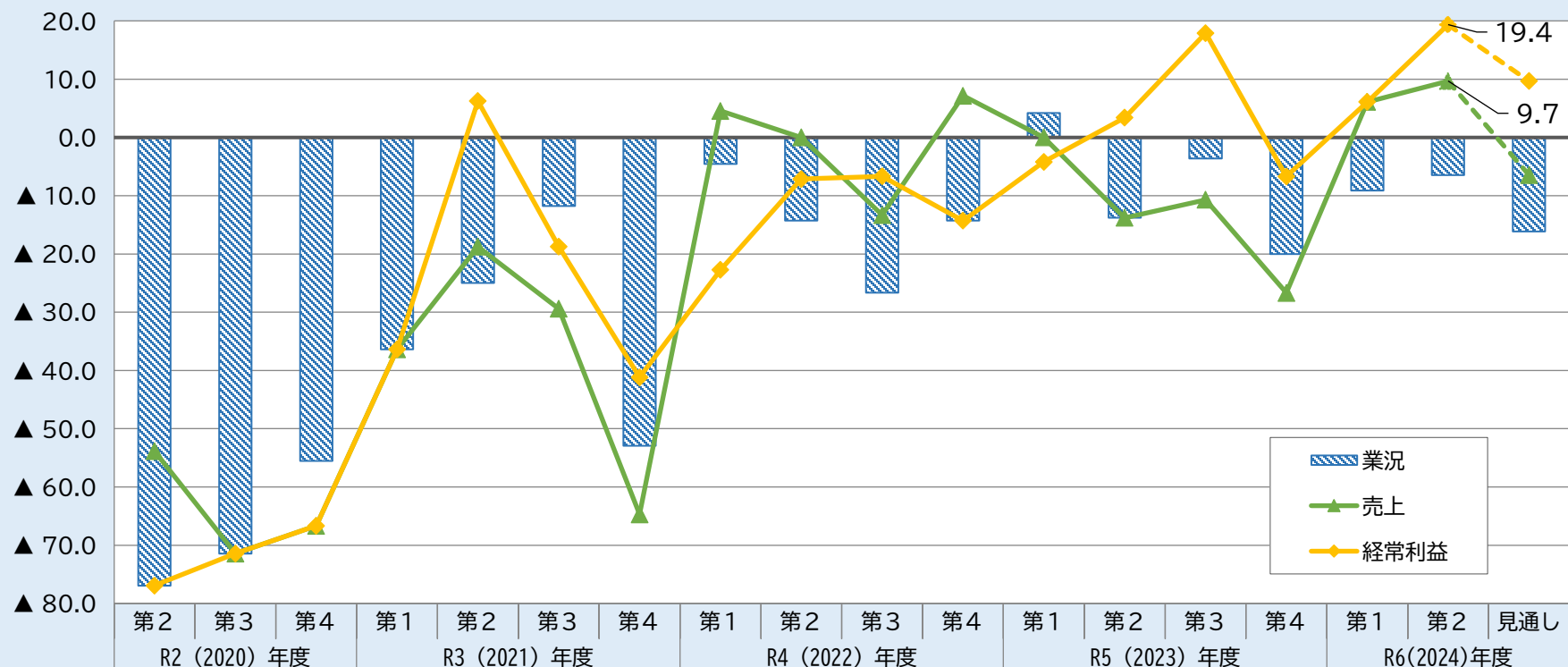


## 【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲1.1と同水準で推移した。	来期: ▲5.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲11.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.3とマイナス幅が拡大する見通し。

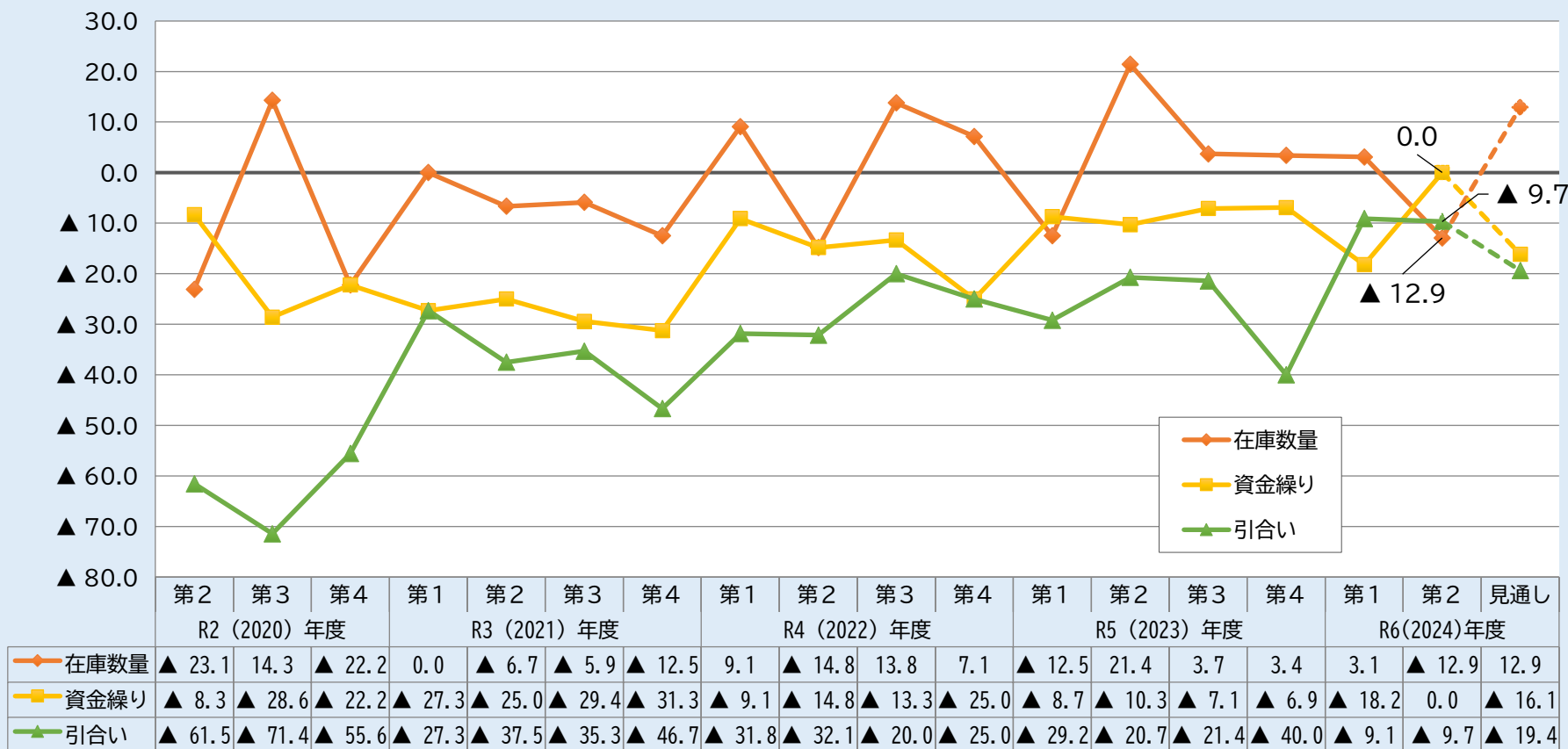
## 【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



業況	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 16.1
売上	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.7	▲ 26.7	6.1	9.7	▲ 6.5
経常利益	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	17.9	▲ 6.7	6.1	19.4	9.7

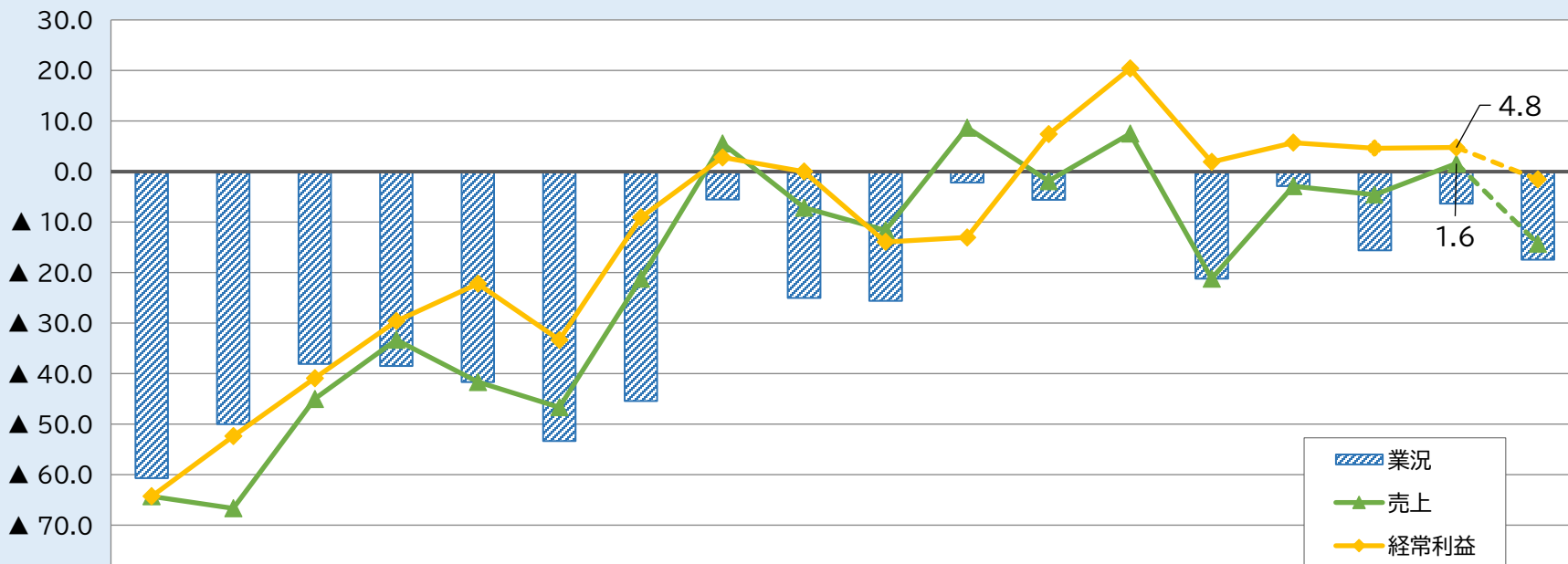
【業況】	今期: ▲6.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +9.7とプラス幅が拡大した。	来期: ▲6.5とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +19.4とプラス幅が大幅に拡大した。	来期: +9.7とプラス幅が縮小する見通し。

## 【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: ▲12.9とマイナスに転じた。	来期: +12.9とプラスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: 0.0とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲9.7とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲19.4とマイナス幅が拡大する見通し。

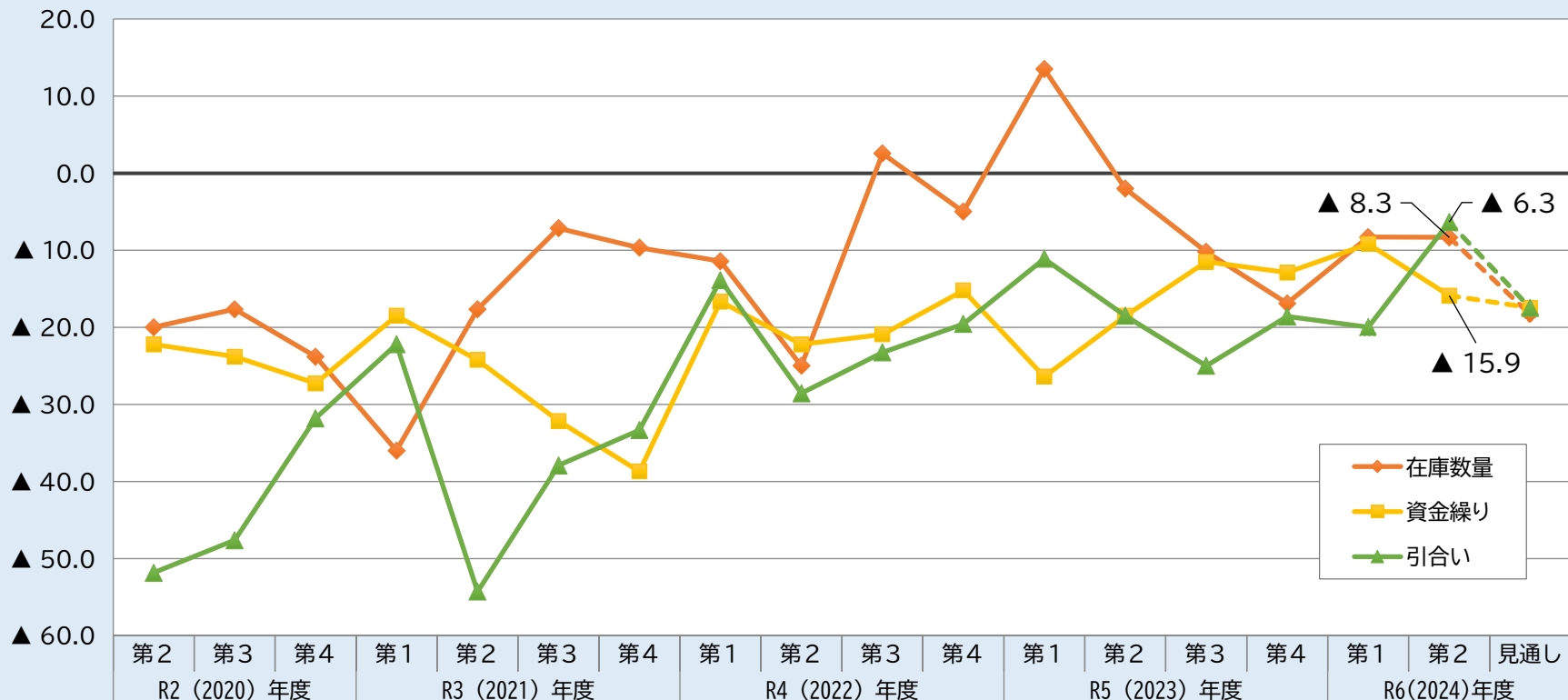
## 【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



	R2 (2020) 年度				R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度		見通し
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2		
業況	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 17.5	
売上	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	▲ 1.9	7.5	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 4.6	1.6	▲ 14.3	
経常利益	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	7.4	20.4	1.9	5.7	4.6	4.8	▲ 1.6	

【業況】	今期: ▲6.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲17.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【売上】	今期: +1.6とプラスに転じた。	来期: ▲14.3とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +4.8とプラス幅がやや拡大した。	来期: ▲1.6とマイナスに転じる見通し。

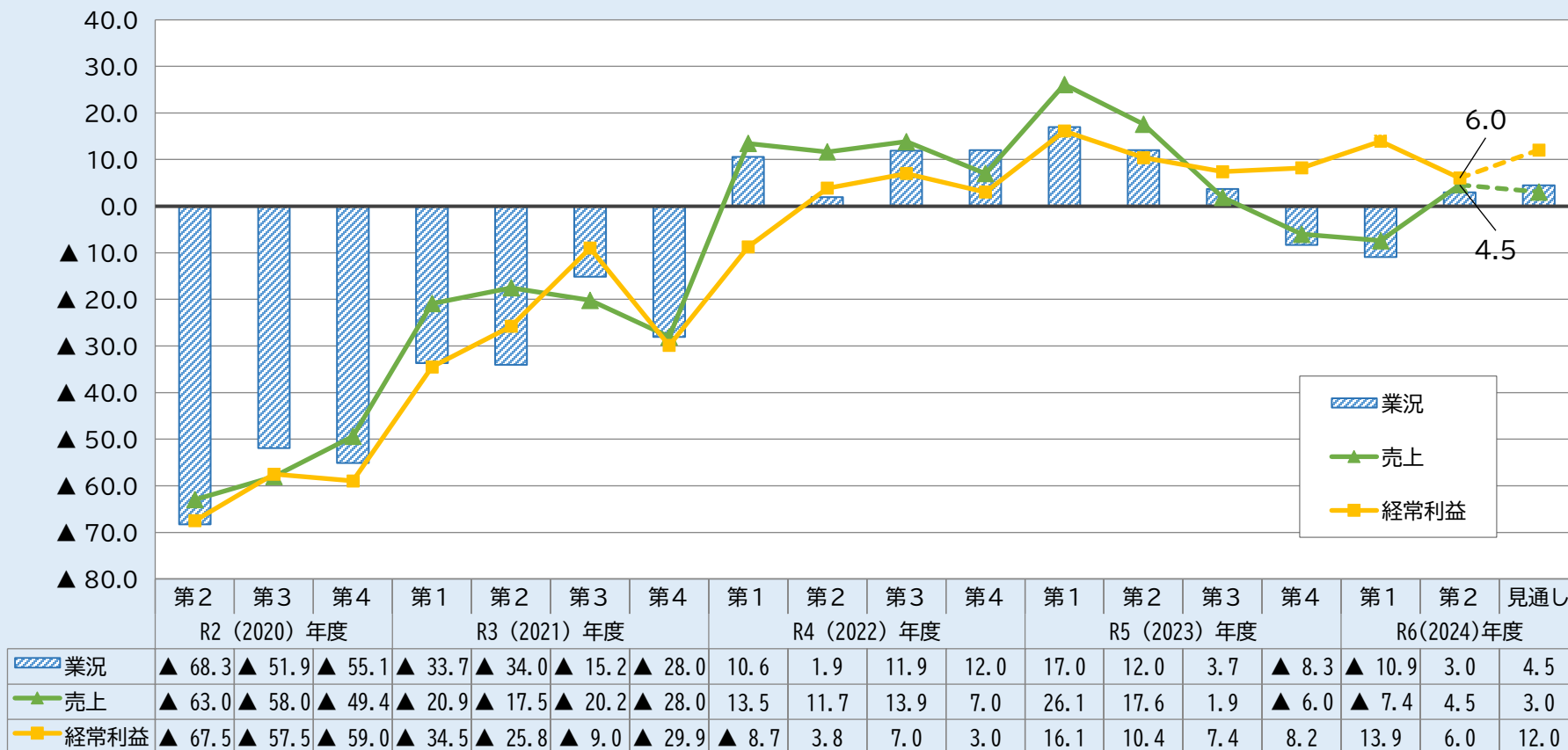
## 【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



在庫数量	▲ 20.0	▲ 17.6	▲ 23.8	▲ 36.0	▲ 17.6	▲ 7.1	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 25.0	2.6	▲ 5.0	13.5	▲ 2.0	▲ 10.2	▲ 16.9	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 18.3
資金繰り	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 27.3	▲ 18.5	▲ 24.2	▲ 32.1	▲ 38.7	▲ 16.7	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 26.4	▲ 18.5	▲ 11.5	▲ 12.9	▲ 9.2	▲ 15.9	▲ 17.5
引合い	▲ 51.9	▲ 47.6	▲ 31.8	▲ 22.2	▲ 54.3	▲ 37.9	▲ 33.3	▲ 13.9	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 19.6	▲ 11.1	▲ 18.5	▲ 25.0	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 6.3	▲ 17.5

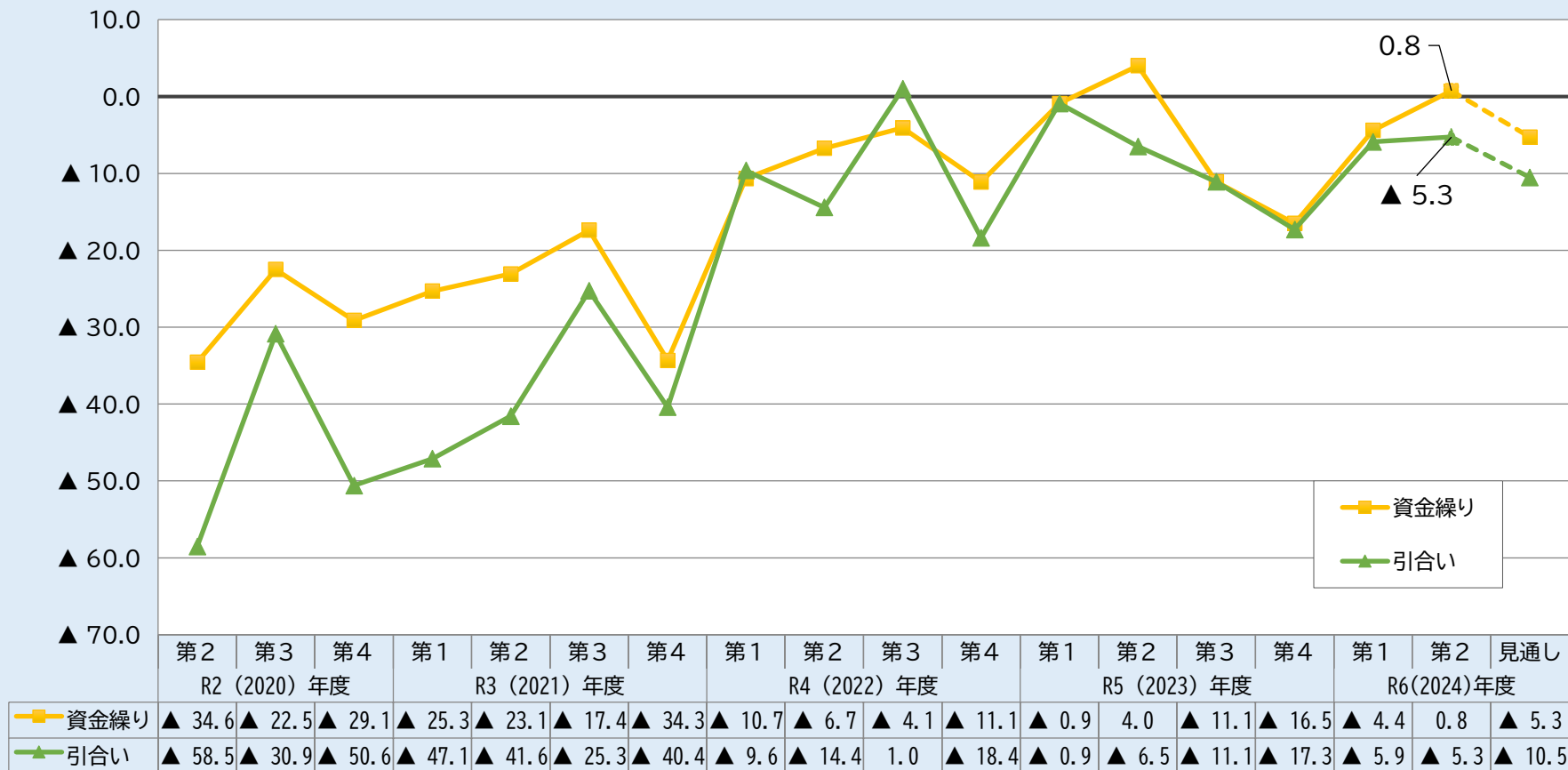
【在庫数量】	今期: ▲8.3と同水準で推移した。	来期: ▲18.3とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲15.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲6.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲17.5とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。

## 【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第2四半期～令和6年度 第2四半期)



【業況】	今期: +3.0とプラスに転じた。	来期: +4.5とプラス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +4.5とプラスに転じた。	来期: +3.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +6.0とプラス幅が縮小した。	来期: +12.0とプラス幅が拡大する見通し。

## 【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第2四半期～令和6年度第2四半期)



【資金繰り】	今期:+0.8とプラスに転じた。	来期:▲5.3とマイナスに転じる見通し。
【引合い】	今期:▲5.3とマイナス幅がやや縮小した。	来期:▲10.5とマイナス幅が拡大する見通し。



# 景況調査結果報告書(令和6年度第2四半期)



## 1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	値上げ効果。客数はやや減少傾向だが、値上げによる反発があまりなかった。	小売業
	大きな原料仕入高アップがあり、価格転嫁が追いついていなかったが、来期より価格改定をして出荷が始まる。ただし、客離れも一定数予測できるため売上高の維持と収益改善のみを想定。	製造業
	受注件数が好転傾向で改善の見通しに期待。	建設業
	販売チャネルの増加により、昨年同時期と比較し注文数が増加している。	製造業
	不採算部門の事業廃止、収益性の高い事業への転換、施設・設備にかかる長期借入金の整理・統合による返済月額抑制などにより、資金繰りが好転。	サービス業
不変	原料高騰により、商品の資材等の値上げが止まらず、商品の値上げ等検討中。	卸売業
	コロナ禍から状況は悪化傾向であったが、給付金等で持ち直していた。ゼロゼロ融資の借入返済が始まり、不安を感じる。	サービス業
	若手の入社が8年間無いので、この先の後継者不足と、年配者退職に対応できるかが課題。	建設業
	今期開発した商品が好調のため、来期は黒字化できると思われる。	製造業
悪化	残業上限規制の影響で、プラント事業の稼働時間が短くなり、昨年同様の生産が見込めない。	建設業
	売上が上がらず、円安、原材料高、値上がりも止まらずなおインボイス制度で悪化の見通し。	卸売業
	アメリカの景気後退で輸出減少。	製造業
	コロナ禍明けのキャンプブームが過ぎ去り、また今夏の猛暑の影響でキャンプ場利用・温泉利用が減少。	サービス業
	人材不足により人材紹介手数料等の採用経費や派遣料が増大している。	小売業
原油高、エネルギー高騰、原価高騰、消費低迷、最低賃金の上昇、税金値上げ、社会保険料の増加等の影響で非常に厳しい。リストラを行っているが限界がきている。	小売業	

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

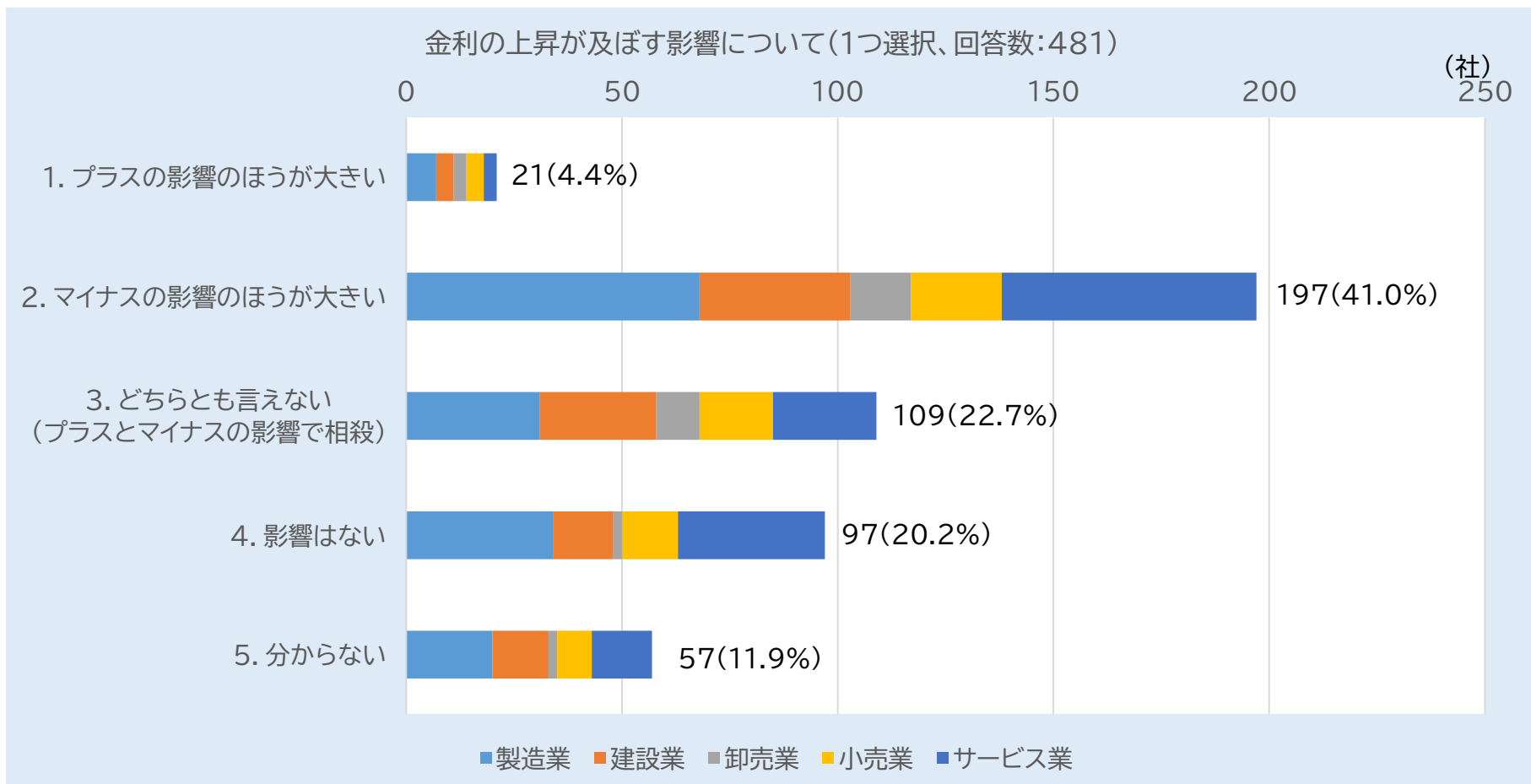
5. 追加設問

## 【追加設問 1】

金利の上昇について

## 金利の上昇が及ぼす影響(全体)

- 金利の上昇が及ぼす影響について尋ねたところ、「マイナスの影響のほうが大きい」が41%で最も多かった。



1. 調査概要

2. 全体

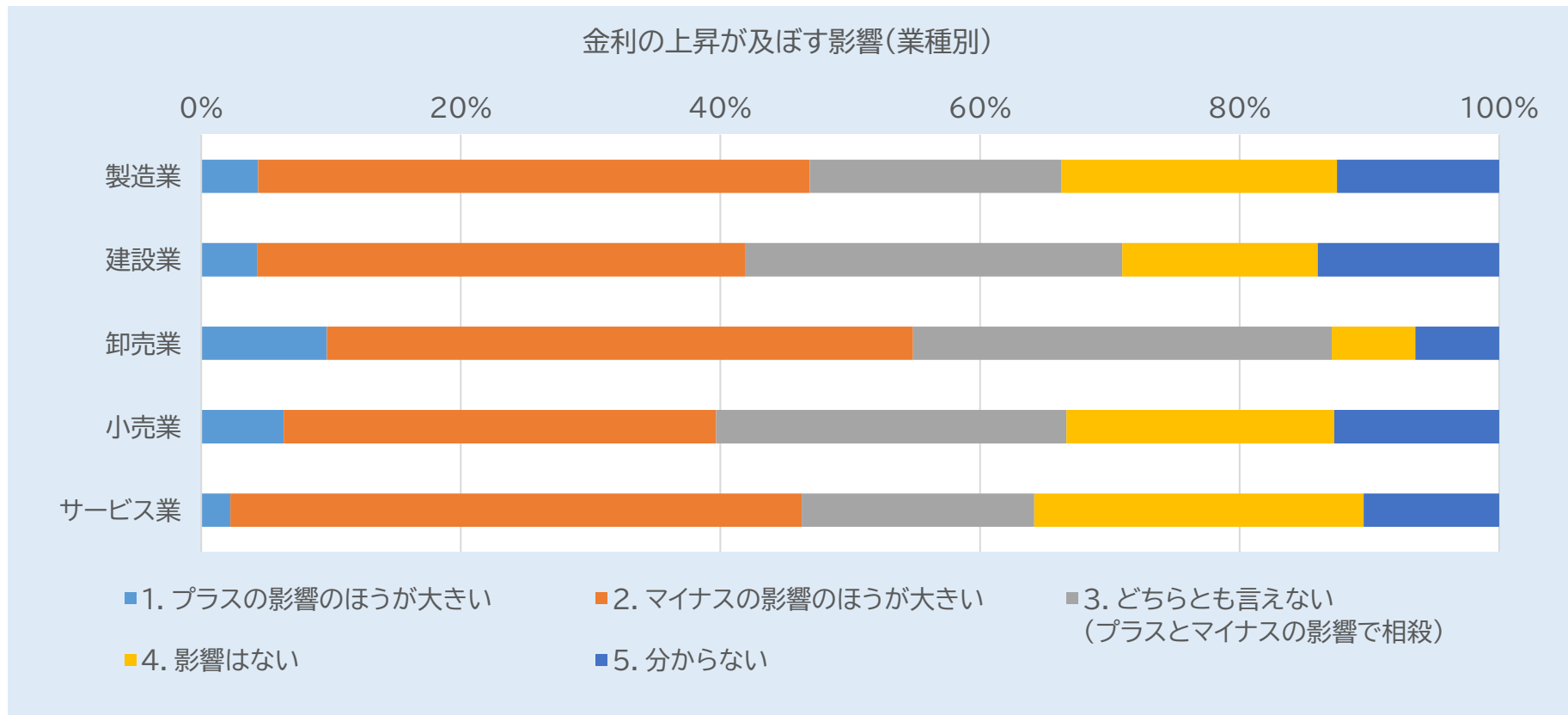
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 金利の上昇が及ぼす影響(業種別)

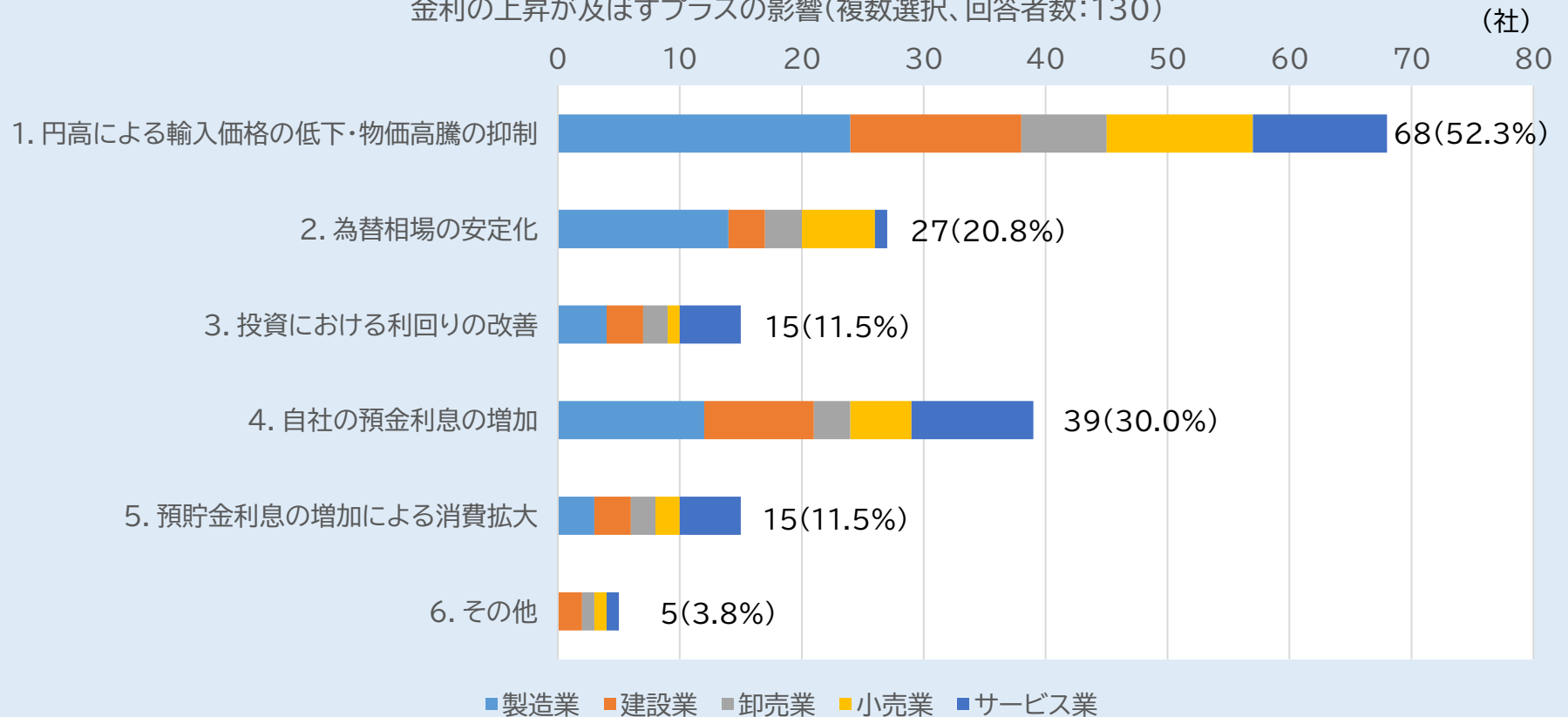
- 金利の上昇が及ぼす影響について業種別にみると、「マイナスの影響のほうが大きい」が、全ての業種で最も多かった。
- 製造業、卸売業、サービス業では、「マイナスの影響のほうが大きい」が4割を超えた。



## 金利の上昇が及ぼすプラスの影響の内容(全体)

- 金利の上昇が及ぼすプラスの影響の内容を尋ねたところ、「円高による輸入価格の低下・物価高騰の抑制」が最も多かった。
- 次いで「自社の預金利息の増加」、「為替相場の安定化」の順に多かった。

金利の上昇が及ぼすプラスの影響(複数選択、回答者数:130)



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

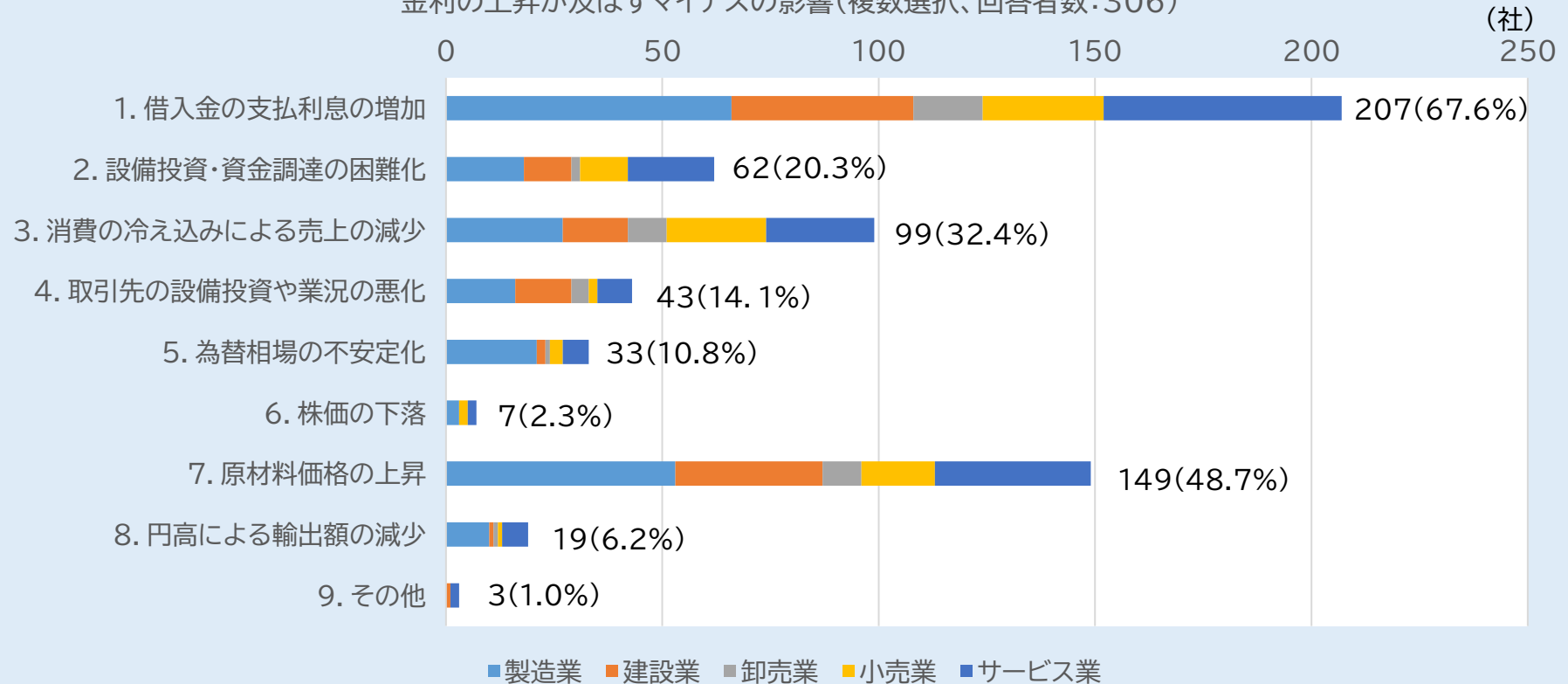
4. 業種別

5. 追加設問

## 金利の上昇が及ぼすマイナスの影響の内容(全体)

- 金利の上昇が及ぼすマイナスの影響の内容を尋ねたところ、「借入金の支払利息の増加」が最も多かった。
- 次いで「原材料価格の上昇」、「消費の冷え込みによる売上の減少」の順に多かった。

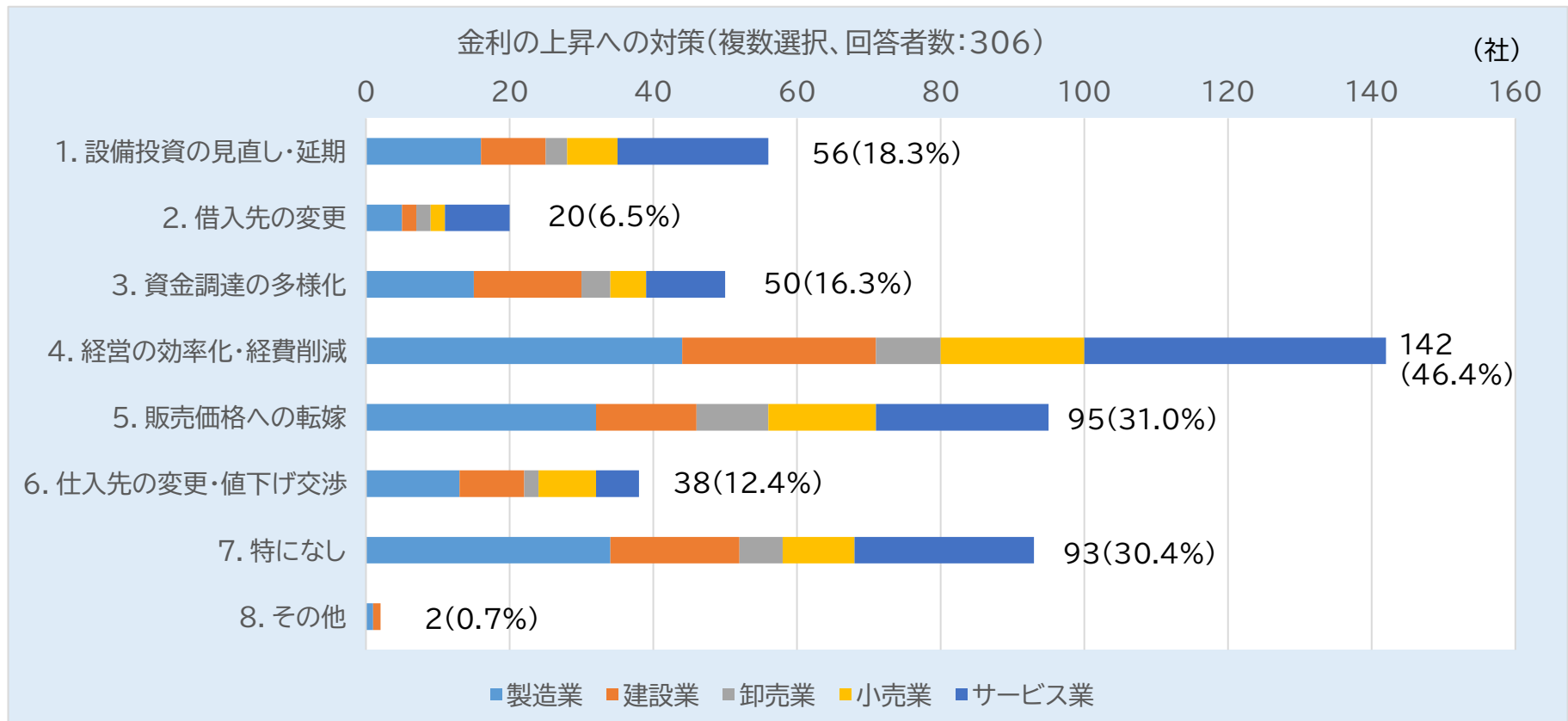
金利の上昇が及ぼすマイナスの影響(複数選択、回答者数:306)



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

## 金利の上昇への対策(全体)

- 金利の上昇への対策について尋ねたところ、「経営の効率化・経費削減」が約46%で最も多かった。
- 次いで「販売価格への転嫁」、「特になし」の順に多かった。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【追加設問2】

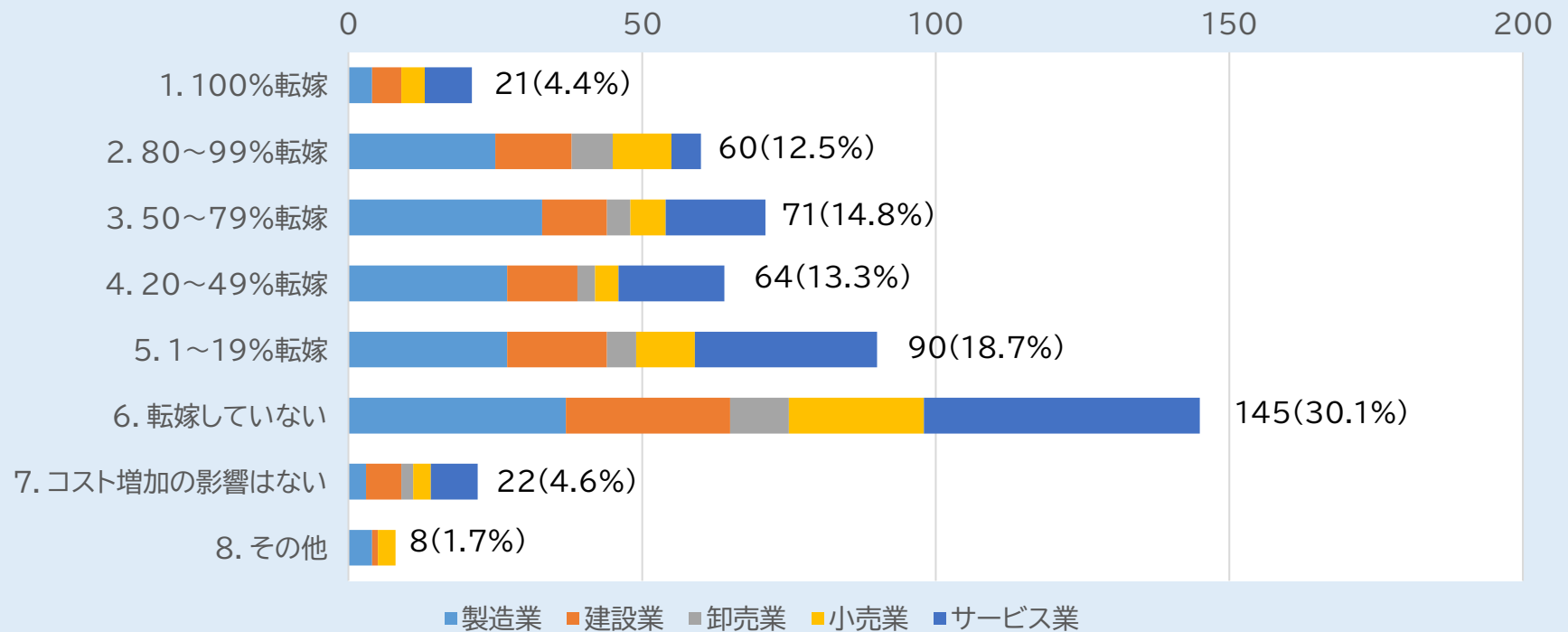
労務費の価格転嫁について

## 労務費にかかるコスト増加分の価格転嫁状況【受注者の立場】(全体)

- 労務費にかかるコスト増加分の価格転嫁状況について尋ねたところ、「転嫁していない」が約30%で最も多かった。
- 労務費の価格転嫁率50%以上の割合は、全体の約32%だった。  
 ※価格転嫁率50%以上…「100%転嫁」、「80~99%転嫁」、「50~79%転嫁」の合計

労務費に係るコスト増加分の価格転嫁状況【受注者の立場】  
 (1つ選択、回答数:481)

(社)

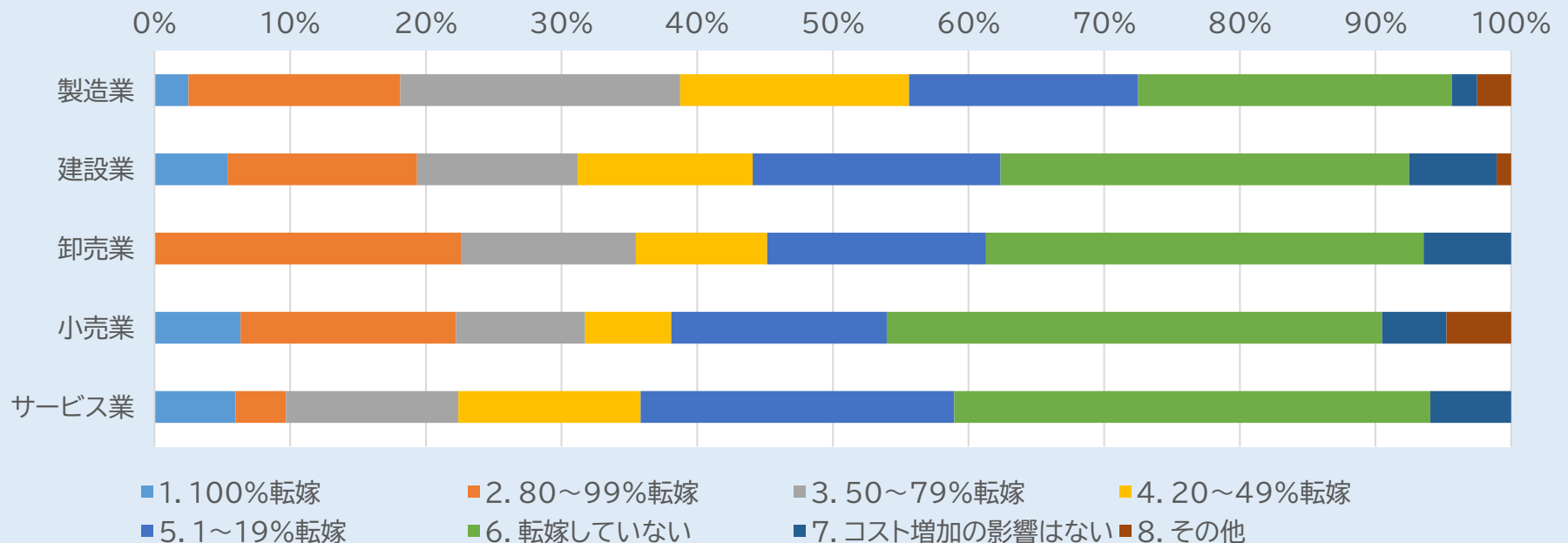


※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 労務費にかかるコスト増加分の価格転嫁状況【受注者の立場】（業種別）

- ・ 労務費にかかるコスト増加分の価格転嫁状況について業種別にみると、全ての業種で「転嫁していない」が最も多かった。
- ・ 労務費の価格転嫁率50%以上の割合は、製造業が約39%で最も多く、サービス業が約22%で最も少なかった。  
※価格転嫁率50%以上…「100%転嫁」、「80～99%転嫁」、「50～79%転嫁」の合計

労務費にかかるコスト増加分の価格転嫁状況【受注者の立場】（業種別）



1. 調査概要

2. 全体

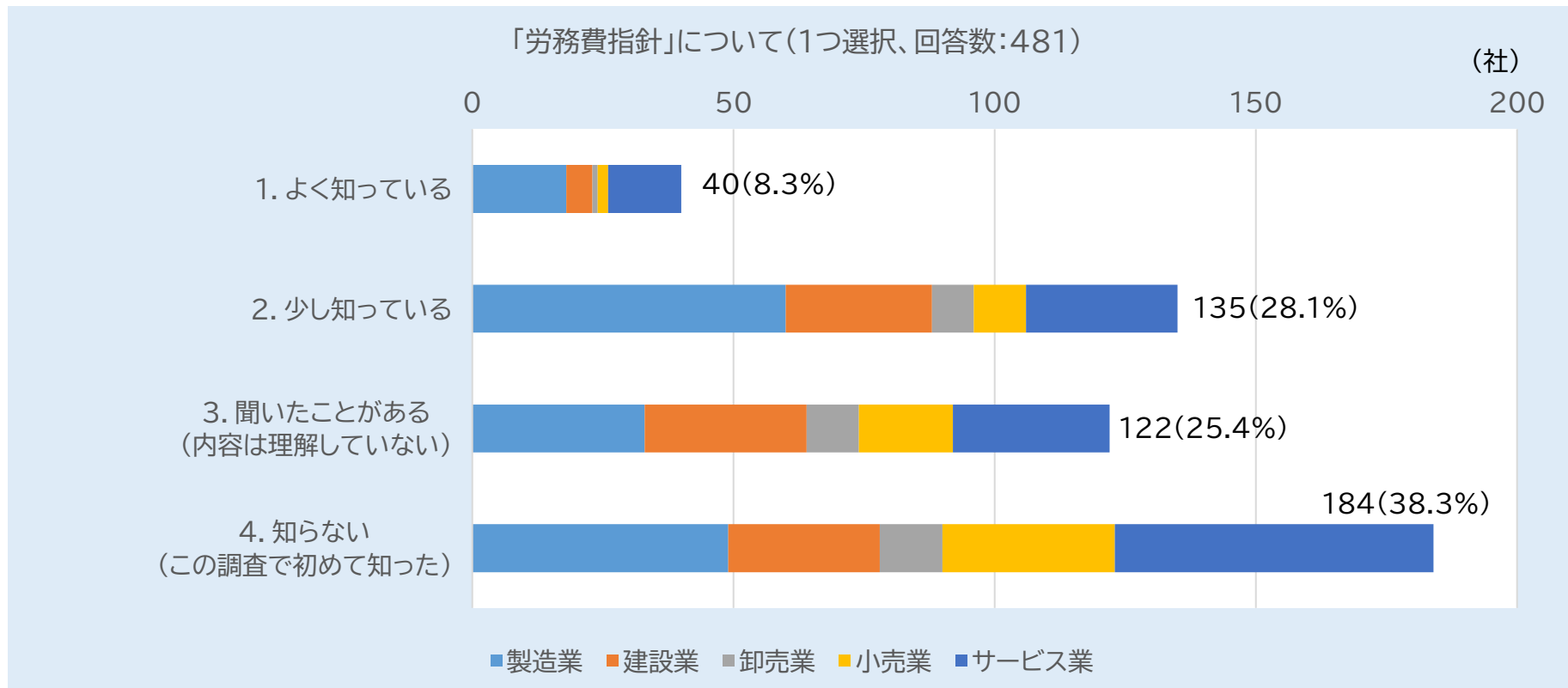
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 「労務費指針」について(全体)

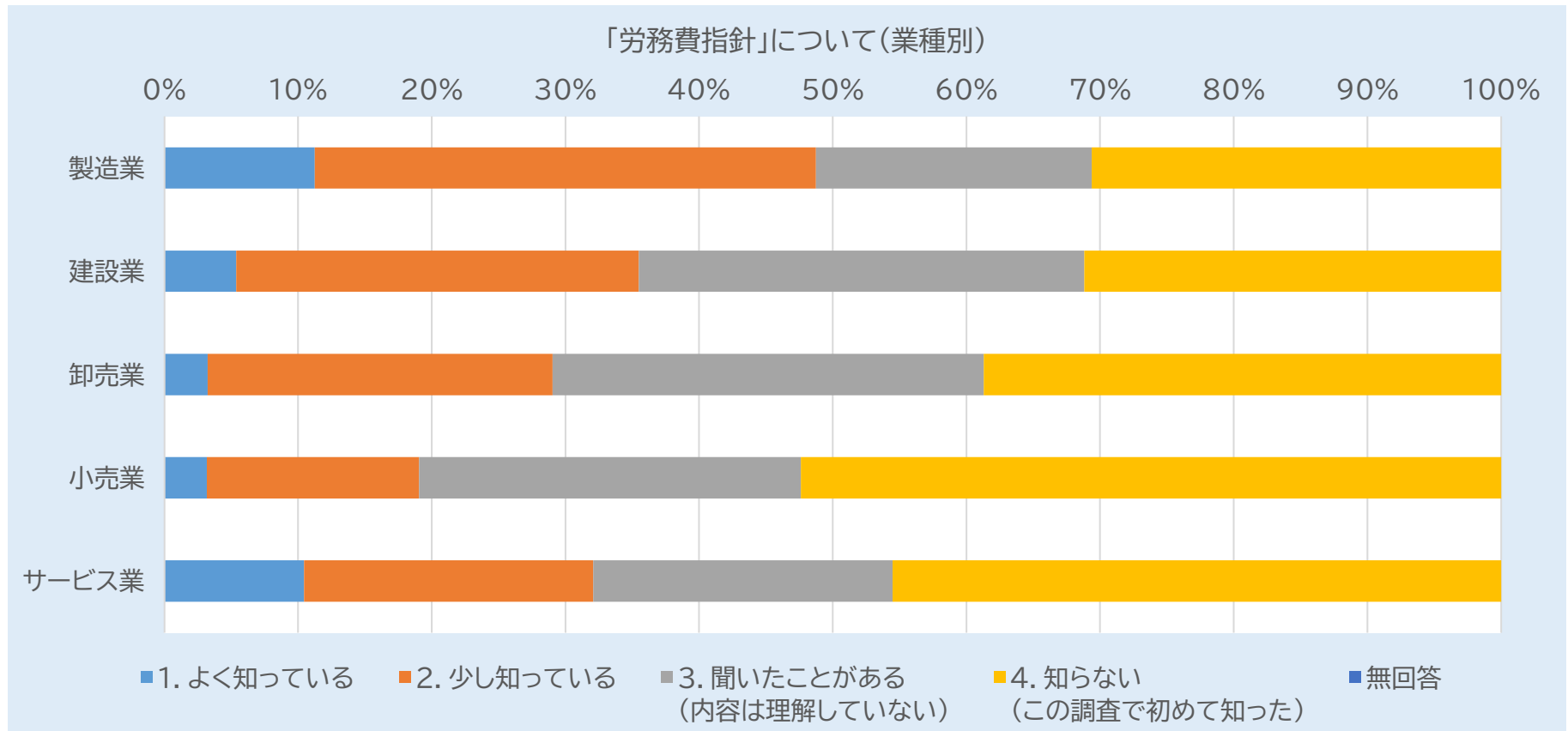
- 令和5年11月に国で策定された「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針(以下、「労務費指針」)」について知っているか尋ねたところ、「知らない」が最も多かった。
- 次いで「少し知っている」、「聞いたことがある」の順に多かった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

## 「労務費指針」について(業種別)

- 「労務費指針」について知っているか尋ねたところ、製造業では「少し知っている」が最も多く、建設業では「聞いたことがある」が最も多く、卸売業、小売業、サービス業では「知らない」が最も多く、業種ごとにばらつきがみられた。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

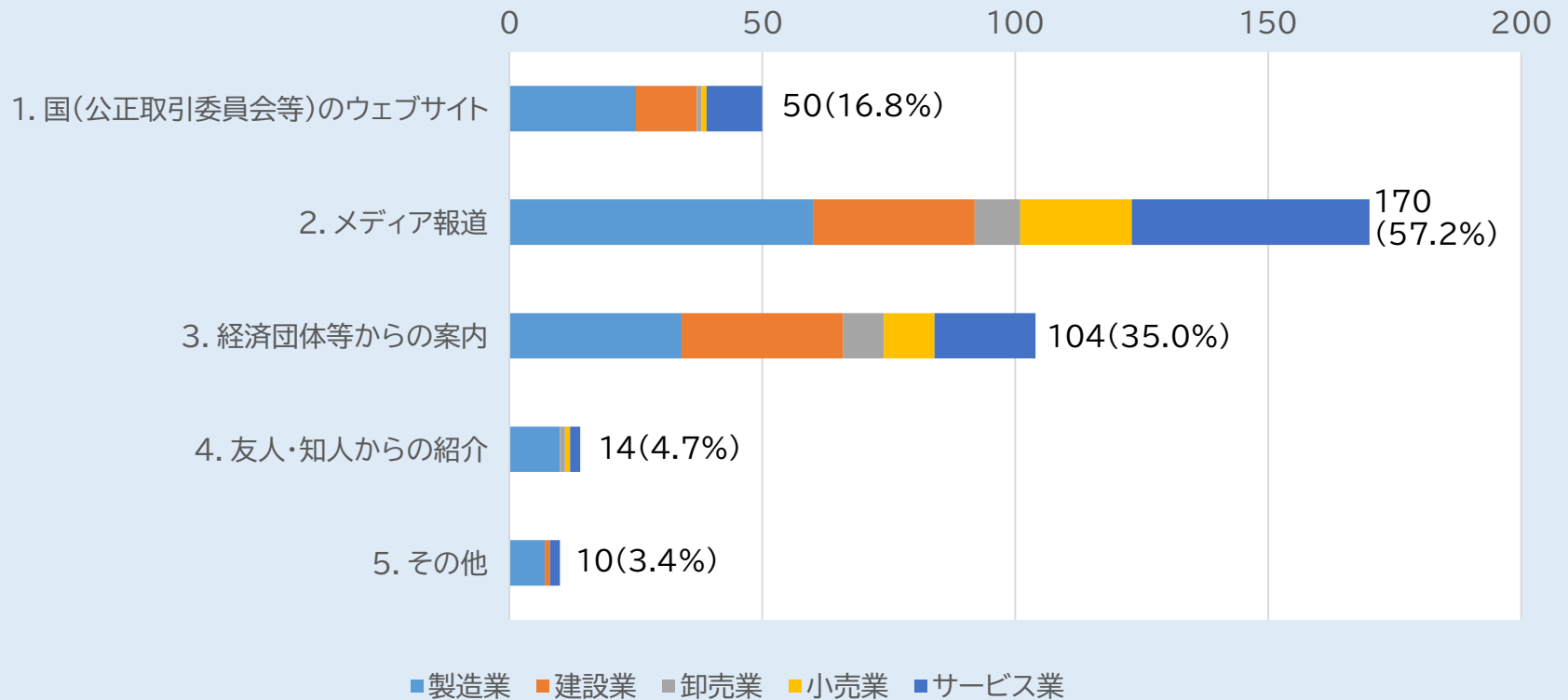
5. 追加設問

## 「労務費指針」を知った経緯(全体)

- 「労務費指針」を知った経緯について尋ねたところ、「メディア報道」が約57%で最も多かった。
- 次いで「経済団体等からの案内」、「国(公正取引委員会等)のウェブサイト」の順に多かった。

「労務費指針」を知った経緯(複数選択、回答者数:295)

(社)



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため、合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

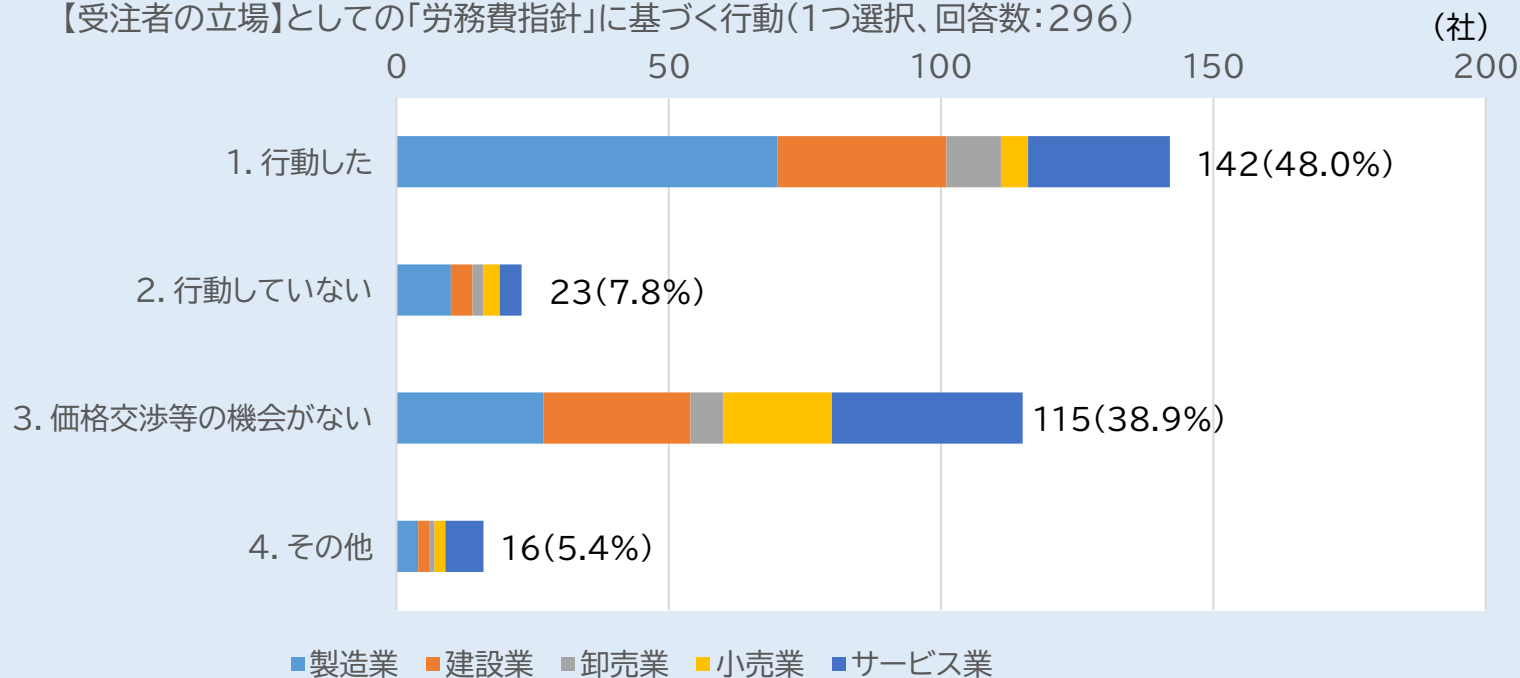
4. 業種別

5. 追加設問

## 【受注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動(全体)

- 【受注者の立場】で「労務費指針」に基づいて行動したか尋ねたところ、「行動した」が48%で最も多かった。
- 次いで「価格交渉等の機会がない」が多かった。
- その他の内容…「価格転嫁すると他社に流れてしまう」等

【受注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動(1つ選択、回答数:296)





1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

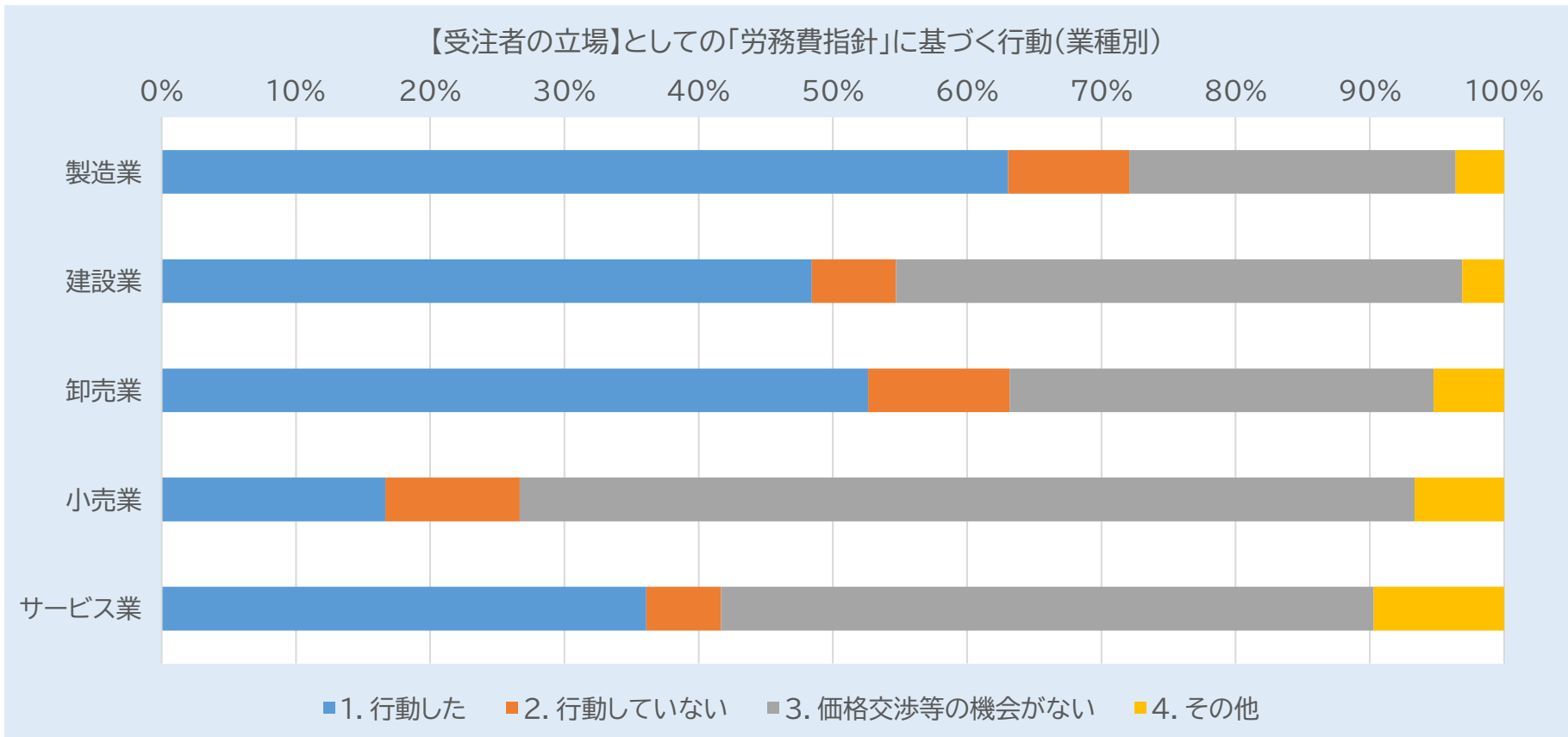
4. 業種別

5. 追加設問

【受注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動（業種別）

- 【受注者の立場】で「労務費指針」に基づいて行動したか尋ねたところ、製造業、建設業、卸売業では「行動した」が最も多く、小売業、サービス業では「価格交渉等の機会がない」が最も多かった。

【受注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動（業種別）



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

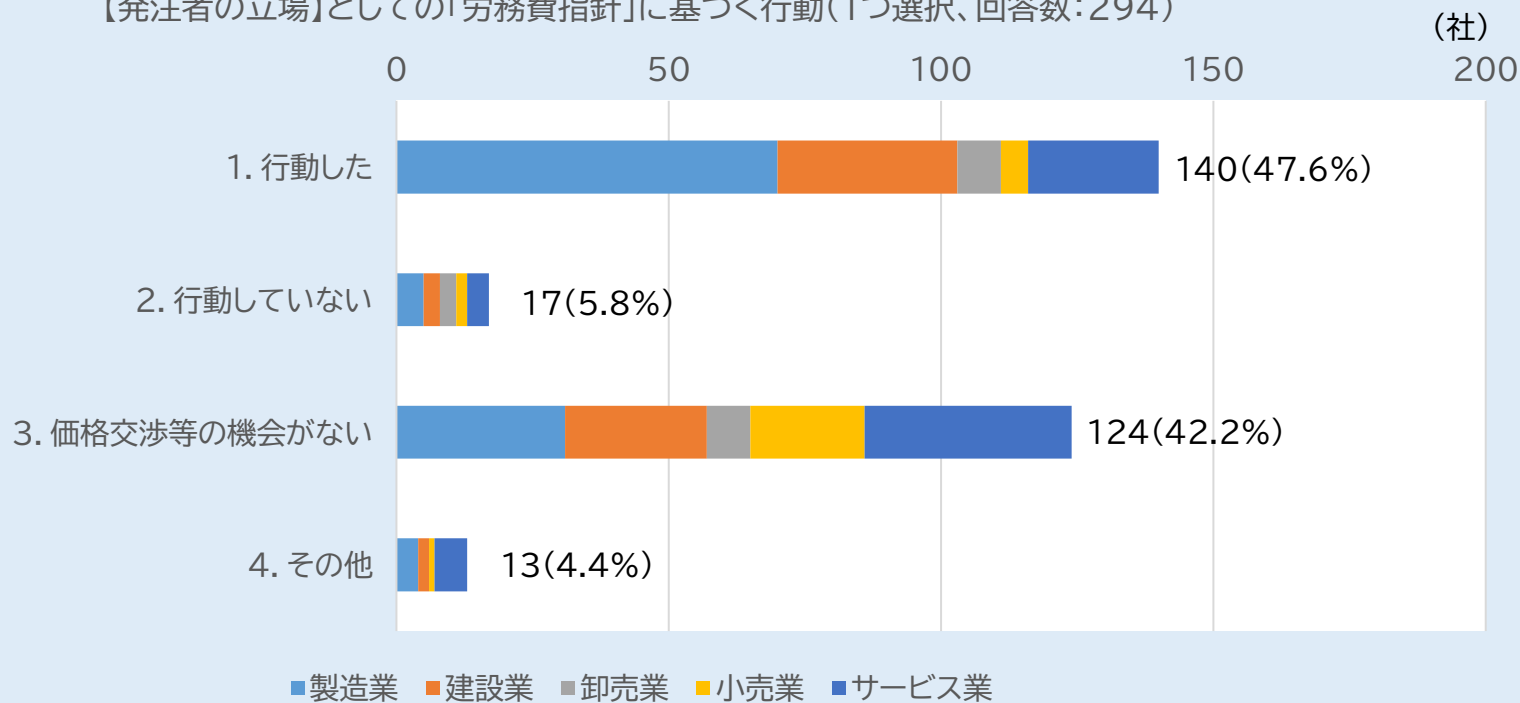
4. 業種別

5. 追加設問

## 【発注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動(全体)

- 【発注者の立場】で「労務費指針」に基づいて行動したか尋ねたところ、「行動した」が約48%で最も多かった。
- 次いで「価格交渉等の機会がない」が多かった。
- その他の内容…「発注者の立場にない」等

【発注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動(1つ選択、回答数:294)



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

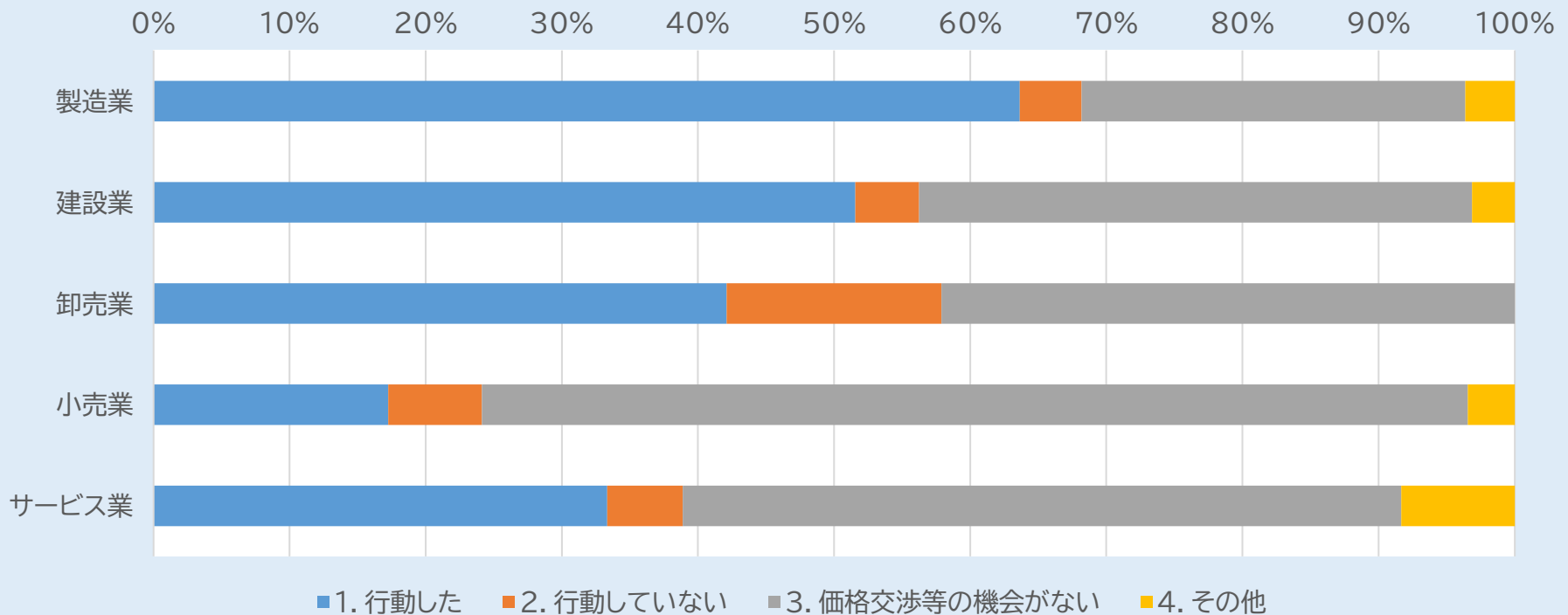
4. 業種別

5. 追加設問

## 【発注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動（業種別）

- 【発注者の立場】で「労務費指針」に基づいて行動したか尋ねたところ、製造業、建設業では「行動した」が最も多く、卸売業では「行動した」と「価格交渉等の機会がない」が同率で最も多く、小売業とサービス業では「価格交渉等の機会がない」が最も多かった。
- 卸売業はその他の業種と比較して「行動していない」の割合が多かった。

【発注者の立場】としての「労務費指針」に基づく行動（業種別）



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

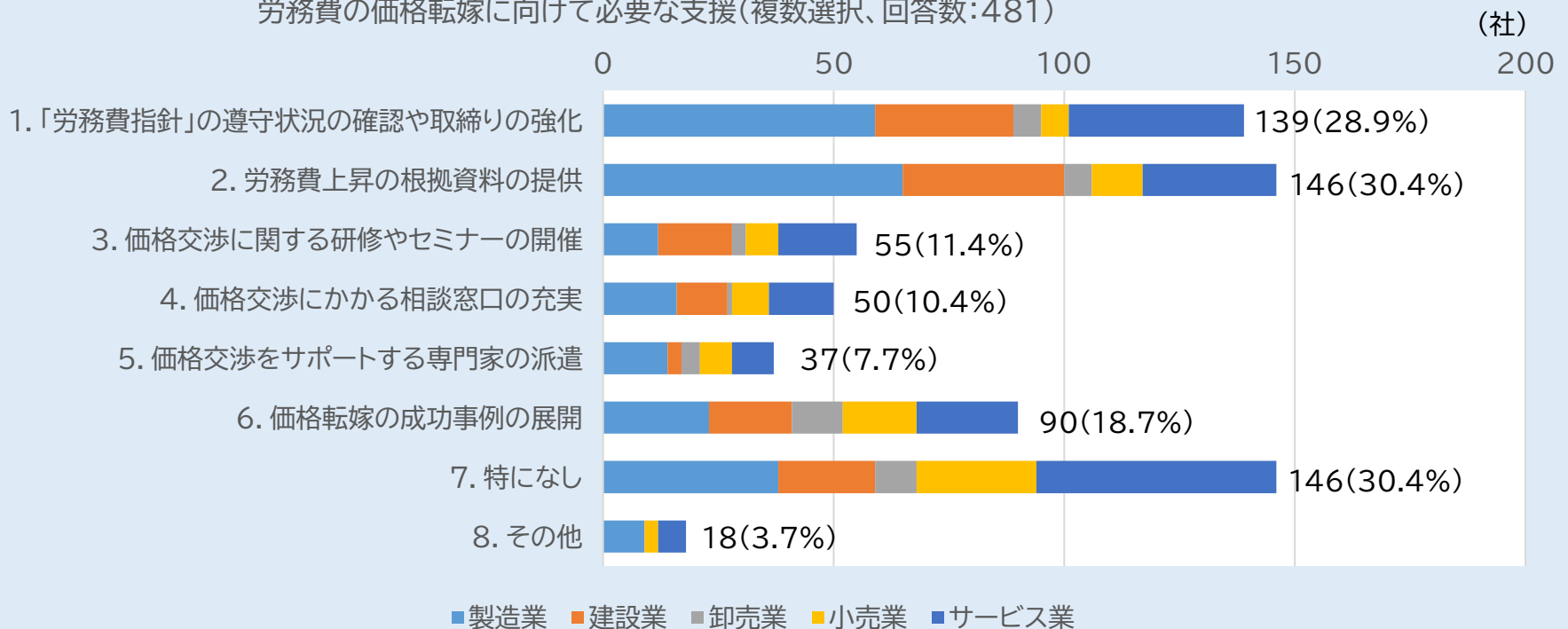
4. 業種別

5. 追加設問

## 労務費の価格転嫁に向けて必要な支援(全体)

- 労務費の円滑な価格転嫁に向けて行政に期待する支援について尋ねたところ、「労務費上昇の根拠資料の提供」、「特になし」がともに約30%で最も多かった。
- 次いで「「労務費指針」の遵守状況の確認や取締りの強化」、「価格転嫁の成功事例の展開」が多かった。

労務費の価格転嫁に向けて必要な支援(複数選択、回答数:481)



※各項目の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)